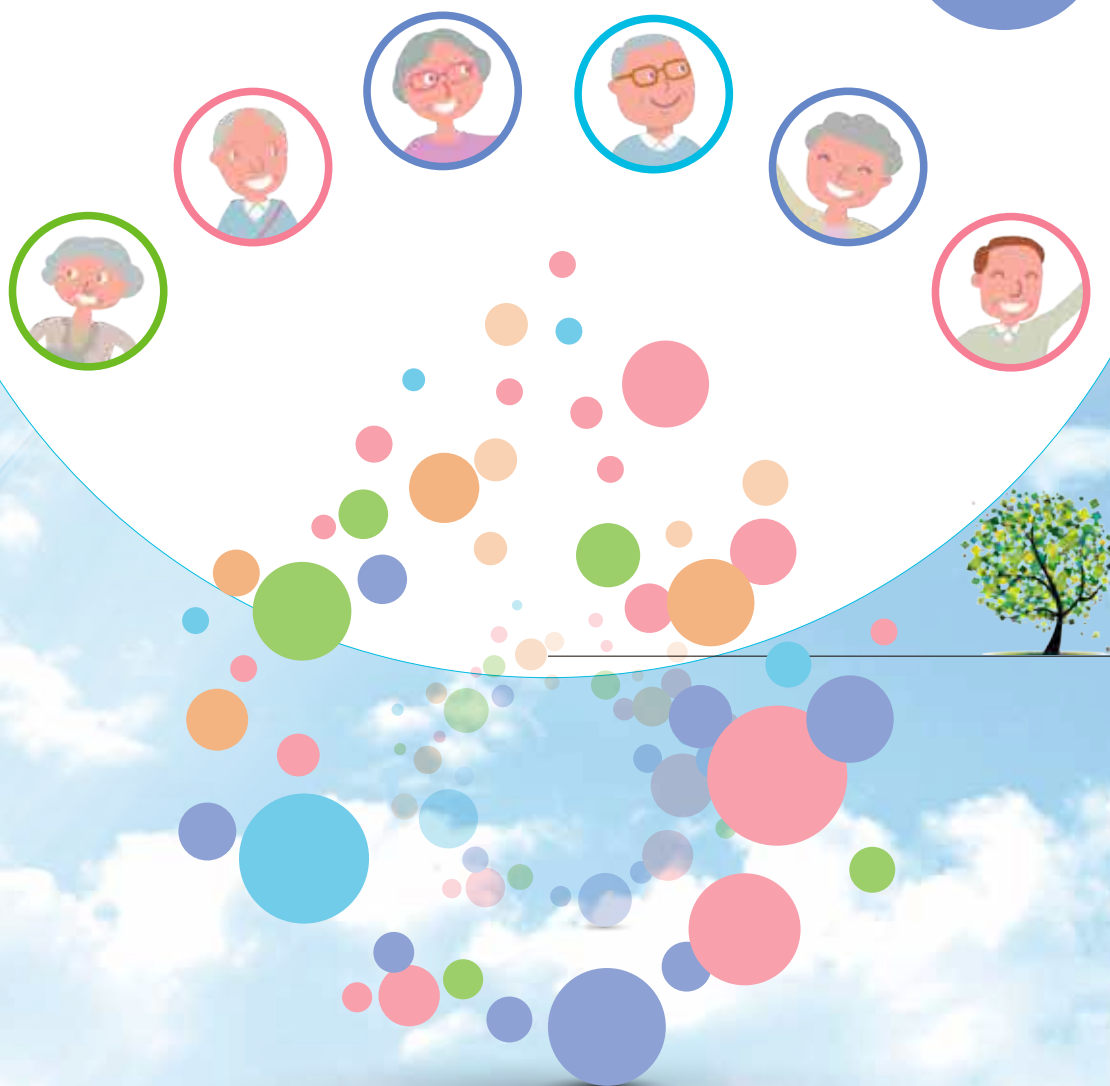


会員加入促進の 取り組み 事例集

令和
元年度



仲間ふやそう



公益財団法人 全国老人クラブ連合会

はじめに



平成26年度から5か年計画で全国運動として推進した「100万人会員増強運動」は平成30年度に終了し、運動の総括を行いました。運動5か年を終え、残念ながら都道府県・指定都市段階の連合会で純増に転じたとの報告はありませんでした。

そのような中で市区町村段階では、会員増加、現状の会員数を維持している老連も報告されています。特に5か年連続で会員を増やした連合会や単位クラブもあることがわかり、第48回全国老人クラブ大会において154団体が表彰を受けました。

この事例集は都道府県・指定都市から推薦された連合会や単位クラブの中から実践事例を「会員の勧誘」「クラブをPR」「クラブをつくろう」「組織的推進」の4つに分類してまとめたものです。

これまで、運動に取り組んでいるリーダーや役員から加入に関わる苦労や「加入促進に近道はない」という言葉をよく耳にしました。しかしながら、全体として会員が減少している中で、運動期間の5年間に会員を継続して増やした老連やクラブもあり、これらの取り組みに共通することは、「①地域からクラブに対する認知度が高い（評価されている）」「②地域の状況を良く分析している」「③地域の関係者との良好な関係を築いている」「④クラブ活動が多様で活発」などがあげられます。こうしたことを踏まえ、自分たちのできるところから取り組みをすすめ、未加入者に対して繰り返し地道に勧誘する姿勢がいかに大切かをあらためて教えていただきました。

今後も健康づくり・介護予防活動や友愛活動を通して「仲間づくり」をすすめて、今回、ご紹介した事例の中から仲間づくりのためのポイントやヒントを今後の取り組みにつなげていただきたいと思います。

令和2年3月

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

「会員加入促進の取り組み」

事例集

目次

はじめに

事例

2 運動1 勧誘からはじめよう!

9 運動2 クラブをPRしよう!

16 運動3 クラブをつくろう!

20 運動4 組織的推進をはかろう!

24 「楽しい」クラブづくりで仲間を増やそう!

5か年連続会員増クラブ・連合会リーダーによる
「会員増強運動の推進検討会」報告

28 運動要綱

30 参考

100万人会員増強運動表彰 団体一覧



運動

1

勧誘から始めよう!

会員一人ひとりが担い手となって



会員増強の成功例に共通しているのは勧誘活動です。「皆さんはどのようなきっかけでクラブに参加しましたか」と尋ねた多くの調査では「誘われて参加した」が最も多い回答になっています。一方、クラブに未加入の方に「加入していない理由」を尋ねると「誘われたことがない」という回答でした。

ここからわかることは“まず誘うこと”。勧誘活動は加入促進の基本です。日ごろの会員一人ひとりの地道な声かけが、大きな成果につながっています。

これまでの活動を見直し、魅力的な活動としたり、だれもが参加したくなる活動が口コミで広がったり、自治会や地域の関係団体と連携した加入促進など、工夫を凝らした取り組みも加入促進に有効です。



- 千葉県 浦安市老人クラブ連合会 (ベイシニア浦安) …… p3
- 東京都府中市 四谷清流クラブ …… p4
- 横浜市都筑区 牛久保東年輪会 …… p5
- 愛知県岡崎市 さくら寿楽会 …… p5
- 兵庫県芦屋市 海洋はつらつクラブ …… p6
- 広島市佐伯区 美鈴が丘地区OB会 第3グループ …… p6
- 岡山県 矢掛町老人クラブ連合会 …… p7
- 香川県観音寺市 萩原三楽会 第1クラブ …… p7
- 熊本県 芦北町老人クラブ連合会 …… p8
- 鹿児島県薩摩川内市 喜入若葉会 …… p8



街頭での積極的な勧誘活動を展開

千葉県 浦安市老人クラブ連合会 (ベシニア浦安)

クラブ数

49

会員数

3,398名

● 自治会を通じた会員増強に取り組む

ベシニア浦安では、会員増強に向けて以下の活動を実施しました。

- ①会員一人ひとりが会のPRや勧誘に取り組んだ。
- ②行事の際に会員募集の幟を掲げ、会員以外の方にも活動を知ってもらう取り組みを行った。
- ③行事によっては観覧などを自由にし、会員以外の方に活動を知ってもらう取り組みを行った。
- ④自治会連合会の定例会に参加し活動を知ってもらうなど、自治会を通じた会員増強に取り組んだ。

上記の他に、街頭での会員増強運動も行っており、令和元年9月28日には令和に入ってから第1回目の会員増強運動を京葉線新浦安駅周辺で実施しました。当日は連合会会長以下役員9名、若手委員会委員など5名に加え、5単老クラブより会長を含め10名の方の応援をいただき、24名が駅周辺3か所に分かれ、高齢と思われる方にパンフレットをお渡しし、ベシニア浦安を紹介しました。話を聞いていただいた方の中には「シニアクラブに入りたいと思っていた」という方もおり、100セット用意したパンフレットも予定時間より早く配布し終わり、ベシニア浦安を知っていただくよい機会になりました。

● 活発で魅力的な活動が重要

また、市老連および単位クラブにおける活発で魅力的な活動が会員増強につながると考え、以下のようなさまざまな活動を行っています。

〈市老連の大会・行事〉

グラウンド・ゴルフ大会（年2回）、パークゴルフ大会（年2回）、芸能発表大会（年1回）、連合大会（功労者表彰／年1回）、カラオケ交流会（年1回）、囲碁・将棋大会（年2回）、麻雀大会（年1回）、単位クラブ会長等研修会（年2回）、支え合い研修（年8回）など。

〈市老連の社会奉仕活動〉

地域清掃（年2回）、高齢者施設訪問（ソーシャル



単位クラブ会長等市内研修会

ダンスなど）、昔遊び交流会（幼児への伝承）、寝たきり老人友愛訪問（年2回）。

〈市老連および単位クラブのサークル活動〉

囲碁将棋、民謡、カラオケ、踊り、祭り踊り、ソシアルダンス、フォークダンス、フラダンス、手芸、料理、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、幼稚園児・保育園児との交流、他縣市老連との情報・意見交換会など。

● 5年間で595名増を達成

こうした市老連および単位クラブにおけるさまざまな活動が、市老連全体での会員増強につながっています。「100万人会員増強運動」がスタートした平成26年には116名の会員が新たに入会し、2年目は87名増、3年目は97名増、4年目は210名増、最終年の5年目は18名増となり、計595名増を達成しました。また、平成25年に44だった単位クラブ数も、平成30年には49に増加しました。



連合大会・第1部「会員功労者表彰」(浦安市文化会館大ホール)

ここが
ポイント
!

●連合会会長や単老クラブ会長などによる会員増強運動を実施

●市老連および単位クラブにおける活発で魅力的な活動が大切

1 勧誘からはじめよう!

2 クラブをPRしよう!

3 クラブをつくろう!

4 組織的推進をはかろう!

「会員増強運動の推進検討会」報告

地道な勧誘活動の継続を大切に

東京都府中市 四谷清流クラブ 会員数 110名

● 地道で粘り強い声かけ活動を実施

四谷清流クラブは、全老連「100万人会員増強運動」の4年目（平成29年度～平成30年度）に会員21名が純増し100名を突破しましたが、これは会員による地道な声かけ活動によるものです。

具体的には、以下のような活動によって21名純増を実現しました。

- ①会員募集のビラづくりとさまざまな場所へのビラの掲出により2名増。
 - ②会の行事への参加呼びかけにより2名増。
 - ③趣味の集いで口コミ勧誘で14名増（歩こう会で4名増、囲碁将棋の集いで2名増。グラウンド・ゴルフの集いで4名増、農園畑仕事の集いで4名増）。
 - ④会員個人による友人・知人への勧誘で5名増。
- 以上の活動により23名が入会し、逆に2名が退会したため、21名の純増となりました。

● 知人・友人からの勧誘が効果的

会員増強に打ち出の小槌はなく、地道な勧誘活動の継続あるのみです。当クラブの成功例としては、入院中の会員が隣のベッドの患者さんを勧誘、引っ越して間もない高齢者を勧誘、市民農園で畑仲間を勧誘、囲碁や将棋、麻雀、カラオケといった趣味仲間を勧誘したなどがあげられます。

入会者から入会動機について聞き取りを行ったところ、知人・友人や趣味を同じくする人からの



役員会

勧誘がもっとも効果的だということが分かりました。また、はじめて入会を勧められて入った人も多く、中には勧誘されるまで老人会の存在も活動内容も知らなかったという人もいました。

大切なのは、面倒くさいと思ったり、断られたときにプライドが傷つくことを恐れず、繰り返し声をかけることだと思います。

● クラブの財政力強化を目指して

今後の課題は、入会会員の維持・受け入れ能力の強化、クラブの財政力の強化です。

会員の維持には、活動内容の充実が欠かせません。参加する喜びが生まれれば、会員が自然と周りの人にその楽しさを話すようになります。また、活動中に生まれる地域の中での助け合いや交流が自然と活動のPRとなります。こうしたことから、まずは活動内容の充実を図っていききたいと思います。

加えて、活動内容の充実を図るためには、補助金と会費だけに頼る運営には限界があり、クラブ自らが稼ぐ工夫をして余裕のある財政運営をすることが望ましいと考えています。そのため、当クラブでは4年前からリサイクル活動に取り組んでおり、年々活発化しています。会員一人ひとりがリサイクル資源を出すことで、参画している意識が生まれ、地域に貢献している自負も持っています。



役員会

ここが
ポイント
!

● 会員増強に打ち出の小槌はなく、地道な勧誘活動の継続あるのみ

● 会員維持に向け、活動内容の充実と自主的な財政力の強化を目指す

充実した活動が口コミで広がり、会員増に

横浜市都筑区 牛久保東年輪会 会員数 121名

● 魅力的な年間行事の企画・開催に注力

会員増強に向け、以下の活動を実施しました。

- ①会員の幅広い年齢層や趣味などを考慮し、年度のはじめに年間行事を企画。
- ②月例の会合には友愛会役員も参加し、女性や高齢者の興味などを考慮して実施。
- ③町内会の三大行事（夏祭り、運動会、祭礼）な



豊洲・浜離宮日帰りバス旅行

どで積極的に勧誘。

- ④町内会の全戸回覧で牛久保東年輪会の活動内容を広く報告し、参加を募る。

①の一例をあげると、グラウンド・ゴルフ大会は年4回、その他の年間行事は4月に花見会、6月・9月には「友愛おしゃべり会」、11月には日帰りバス旅行、12月には「みんなで歌おう会」、2月には年輪会新年会などを開催しました。

● 会員とともに、行事への参加者も増加

こうした幅広い年齢や趣味などを考慮したさまざまな行事を開催することで、その内容のよさなどが口コミで広がり、新たな会員の入会があるという好循環になっています。「100万人会員増強運動」の5年間では12名の会員が増加（純増）しました。

同時に、各行事への参加者も増え、前述の平成30年11月に実施した豊洲・浜離宮日帰りバス旅行には50名の会員が参加しました。

地域に根ざした勧誘

愛知県岡崎市 さくら寿楽会 会員数 162名

● 行事の魅力向上にも知恵を絞る

市中心地にありながら、自然豊かで穏やかな愛宕学区で活動するさくら寿楽会。愛宕学区は高齢化率約30%と高齢者が多い地域であるにもかかわらず、平成25年に一度は休会を余儀なくされました。

その反省を生かし、総代会はじめ学区内の諸団体の会議へ積極的に出席・協力することで、各団

体の役員を効果的に勧誘することができ、クラブへの支援協力も得ることができました。

また、役員に担当地区を割り振り、地域密着型の勧誘を行いました。この取り組みは、顔見知りの安心感から多数の入会につながりました。

さらに、行事の魅力向上に知恵を絞り、多様なサークルを揃えたことで、趣味仲間のグループが入会するという成果もありました。

● 入会しやすい環境づくりに注力

休会を余儀なくなされた平成25年当時の会員数は84名でしたが、上記の取り組みの結果、「100万人会員増強運動」の5年間で78名の会員が増え、平成30年には162名となっています。

現在は地域の行事に積極的に参加し、地域の風習の伝承に努めることで、クラブの存在を認識してもらうとともに、勧誘・入会しやすい環境づくりに力を注いでいます。



地域伝統の風習(七夕笹飾り)

活発な活動を行い、楽しさを発信

兵庫県芦屋市 海洋はつらつクラブ 会員数 103名

● 地区の掲示板を活用し、未加入者へPR

「海洋はつらつクラブ」は、平成25年に結成した新しいクラブです。全体行事として、年1～2回開催する「お楽しみ会」では、芸達者な方やグループを招いたり、参加者に好評の女性だけの「相



ひな祭りの集い

撲甚句」を披露したり、会員以外も参加できるように、掲示板に行事案内を張り出し勧誘しています。午後は、会員が集まり、歓談しながら昼食をとり、クイズやビンゴ、合唱等で和気あいあいと楽しんでいます。また、毎週開催するグラウンド・ゴルフや麻雀・カラオケ・ビリヤードなどサークル活動は参加率が高く、会員増加につながっています。年3～4回開催の「グルメの会」では、“うまい料理”を楽しみます。当クラブには女性会員だけの「ゆりの会」があり、七夕会やクリスマス会、ひな祭りの集い等の季節に合わせた活動を行っています。総会では、サークル活動を説明し、口コミで未入会者へのPRとなるように努めています。

結成時の会員は42名でしたが、活発な活動を行うと同時に、未加入者にも参加を積極的に呼びかけることで、「100万人会員増強運動」の5年間で会員は61名増加し、103名となりました。

勧誘に加え、新規会員のサポートにも注力

広島市佐伯区 美鈴が丘地区OB会 第3グループ 会員数 135名

● ゴルフ部を新設し若手の入会を促進

社協「西サロン」の出席者に対して民生委員が中心となって熱心な勧誘活動を行い、平成27年度には「西サロン」より17名の新規入会があり、以降も継続して勧誘活動を行っています。

また、「入会あんないポスター」を作成して町内7か所に掲示し勧誘にあたっているほか、サークル活動を記載した「入会あんないチラシ」の配布、入会年齢に達した方への個別訪問など、さまざまな勧誘活動を実施しています。さらに、若手の入会を促すためにゴルフ部を新設して勧誘した結果、9名の新規入会がありました。

● 新規会員が楽しく過ごせるように

勧誘活動と並行し、新規会員への細やかな対応にも力を入れています。新たに入会した方には会員名簿や行事予定表、誕生会の案内に加え、サーク

ルへの加入チラシをすぐさま持参し、快く参加できるように配慮するとともに、密に連絡をとるなど新規会員が楽しく過ごせるように心がけています。

こうした取り組みの結果、平成25年には73名だった会員は5か年で62名増の135名となり、20名増という5か年目標の達成率は310%となりました。また、若手の構成も45%に達し、佐伯区の平均35%を大きく上回る好結果となっています。



新年互礼会

新たな事業を展開し、加入促進を図る

岡山県 矢掛町老人クラブ連合会

クラブ数 27 会員数 958名

● 健康づくりに関わる行事で加入促進

矢掛町老人クラブ連合会では、町独自の使途に制限のない単独補助金を活用し、地区ごとに事業を展開して加入促進を図っています。

また、女性スポーツ大会や新たなスポーツ大会など健康づくりに関わる行事を開催して加入促進につなげているほか、古希を迎える方を対象に慶寿式を開催して加入を呼びかけています。平成30年度の慶寿式には36名の方が出席し、そのうちの8名が老人クラブに加入してくれました。加えて、老人クラブの普及を目指し、各地区役員による未加入者の勧誘も積極的に実施しています。

● 取り組みにより毎年確実に会員が増加

これらの取り組みの結果、「100万人会員増強運動」がはじまった平成26年には16名の増加となり、2年目には25名増、3年目には73名増、4

年目には26名増、5年目には38名増と、毎年確実に会員を増やすことができています。会員増強運動スタート前は780名だった会員は、平成30年には178名増の958名となりました。

新規に会員を獲得しても、それ以上の方が退会するケースもあり、会員増強はなかなか難しい面もありますが、これからも会員同士が力を合わせて老人クラブの普及に取り組んでいきたいと思っています。



女性のスポーツ吹き矢大会

各理事が自治会内で熱心な勧誘を展開

香川県観音寺市 萩原三楽会 第1クラブ 会員数 210名

● 公民館からの補助も大きな助けに

萩原三楽会 第1クラブでは、老人クラブへの加入低下を防ぐよう、各理事（役員）が常に意識し、地道な声かけを行っています。

また、理事（各自治会選出役員）が担当自治会内における該当者に対して熱心に勧誘を実施しています。加えて、当クラブでは転入者などへの勧

誘も積極的に行っています。

これらの取り組みに加え、萩原地区公民館から会費の協力（補助）があることも、老人クラブへの入会を促進する大きな助けとなっています。

● 会員増強に加え、若手会員の比率も向上

こうしたさまざまな勧誘活動や萩原地区公民館から会費の協力などが、会員増強につながりました。

「100万人会員増強運動」がスタートする前の平成25年、当クラブの会員数は166名でした。会員増強運動1年目の平成26年には8名増となり、2年目には12名増、3年目には10名増、4年目には12名増、最終年の5年目には2名増と、新規会員は順調に増加し、5年間で計44名増、会員数は210名となりました。

また、これらの取り組みにより若手会員の比率も向上し、現在は高年100名、若手110名と、若手が50%を超えるまでになっています。



出前講座（なつかしい歌・歌謡浪曲）

個人ネットワーク・報奨制度等による勧誘

熊本県 芦北町老人クラブ連合会 クラブ数 45 会員数 2,308名

● 会長が先頭に立って個別訪問を実施

芦北町老人クラブ連合会では、会員増強に向けて以下の取り組みを行いました。

- ①定期役員会で協議事項の最初に「会員増強運動（新会員の勧誘）について」を議題として掲げ、意識づけをさせた。
- ②町老連会長や単老会長が先頭に立って個別訪問による勧誘を行った。女性役員は自らの友達



会員増強取り組み等研修会

ネットワークを生かして入会を呼びかけ、事務局長は自らの役場OBネットワークを生かして自治区長の協力を取りつけるなど、それぞれの役割を果たした。

- ③会員増強報奨金制度（会員増強特別対策費）により、新会員増10人以上に1万円、5人以上に5,000円を支給することとした。

● 会員増強報奨金制度による意欲向上

これらの取り組みにより、「100万人会員増強運動」の5年間で266名の会員が増加しました。

女性役員の友達ネットワークや事務局長の役場OBネットワークを生かした地道な勧誘活動はもちろんのこと、町老連会長や単老会長の積極的な個別訪問による勧誘がこれらの成果につながりました。併せて、会員増強報奨金制度を設けたことが新規会員確保に向けた意欲向上につながり、さらに成果を生んだと考えています。

未加入者の参加を促進し、活動をPR

鹿児島県薩摩川内市 喜入若葉会 会員数 102名

● 地域高齢者に活動をアピール

喜入若葉会では、3月を加入促進月間と位置づけ取り組んでいます。会員増強には、地域高齢者に活動をアピールすることがもっとも効果的と考え、各会員にはなるべく未加入者を誘って各種活動に参加してもらうよう呼びかけています。

常時活動としては、週1回の「はんとけん体操」と月1回の会員懇親会（名称「1日会」）を継続して実施しています。また、健康づくり活動としてグラウンド・ゴルフ練習会を週3回行っています。他に、研修旅行、公園および自治会の花植え作業を年2回実施するとともに、忘年会や餅つき大会、夏祭り支援などにも積極的に取り組んでいます。

● 笑顔あふれる地域を目指して

こうした取り組みにより、平成25年に36名だった会員は毎年増加し、平成30年度には102名の大

所帯となり、活動も活発になってきました。

会員同士の連帯感も強まってきて、生活支援サービスの体制づくりに会員が積極的に参加したり、ゴミ出し作業などに自発的に協力しています。また、保育園や小学校との世代間交流、健康づくり活動への参加者も増加傾向にあります。

笑顔あふれる地域を目指し、会員一丸となって取り組んでいると自負しています。



毎月1回の会員懇親会

運動

2

クラブをPRしよう！

知られてますか、あなたのクラブ



「老人クラブ？ 名前は知っているけど…」このような声が聞かれます。

地域組織と連携したPR、会員募集チラシや会報の配布、地元行事への参画、集いの場づくり「いきいきサロン」などをとおして、老人クラブの魅力や活動内容を積極的に発信し、効果をあげています。活動拠点（老人憩の家など）を活用し、会員・非会員が気軽に参加できる楽しい行事や多彩なサークル活動への参加を呼びかけたり、地域活動に積極的に参加・協力することによって、未加入の高齢者をはじめ多くの住民に理解を深めてもらうことが加入促進につながっています。



- 札幌市厚別区 みずほ楓会…… p10
- 岩手県 普代村老人クラブ連合会…… p10
- 東京都目黒区 東根会…… p11
- 福島県福島市 桜台桜寿会…… p12
- 神奈川県二宮町 緑が丘ゆめクラブ…… p12
- 大阪府交野市 倉治老人クラブさんゆう会…… p13
- 奈良県生駒市 鹿ノ台北桜美会…… p14
- 大阪府交野市 私市山手さわやかクラブ…… p15
- 高知県 室戸市老人クラブ連合会…… p15



親睦交流会を通じ、クラブの魅力を発信

札幌市厚別区 みずほ楓会 会員数 134名

● 各種団体と連携し、地域社会に貢献

会員増強に向けて以下の取り組みを行いました。

- ①魅力あるサークル活動の展開および新たなジャンルの育成。
- ②「行事予定・お知らせ」を会員に毎月配布し、例会への参加を促進。
- ③年5回の親睦交流会は、自治会役員にも参加を呼びかけ、クラブの魅力を発信。
- ④もみじ台連絡協議会、区老連の行事にも積極的に参加。
- ⑤公園の清掃、花壇の花植え、散水、花殻摘みなどの環境美化活動に積極的に参加。
- ⑥小学校や児童会館の行事に積極的に参加し、世代間交流を促進。

● クラブに対する地域の理解が深まる

もみじ台連絡協議会、区老連の行事に会員が積

極的に参加することで、老人クラブの活動の幅が広がるとともに、老人クラブに対する理解が深まり、運動期間中は毎年、退会会員を上回る新会員の加入がありました。また、自治会の協力を得て、「みずほ楓だより」や「資源回収の協力お願い」を毎月、全戸回覧を行ったことにより、地域の未加入者への加入の動機づけとなり、新会員の確保につながりました。

これらの取り組みにより、「100万人会員増強運動」の5年間で27名の会員が増加しました。



健康体育部による朝のラジオ体操



地域に開かれたサロンを全クラブで実施

岩手県 普代村老人クラブ連合会 クラブ数 11 会員数 782名

● 高齢者相互の交流事業に取り組む

村老連では、高齢者相互の交流事業として、村老連会長杯グラウンド・ゴルフ大会や岩手県民長寿体育祭いきいきシニアスポーツ大会の練習日を設け、相互交流と連帯感の醸成を図っています。同時に、地域の小学校児童や認定こども園の園児との世代間交流事業も行っています。



グラウンド・ゴルフ大会

また、従来複数クラブによるサロンを開催していましたが、参加者の偏りもあるためクラブごとの開催とし、平成23年の東日本大震災以降は会員だけでなく60歳以上の被災者を対象とするサロンにしました。当時サロンを開催していなかったクラブも、村老連と県老連の被災地支援事業助成により立ち上げ、現在では全クラブで開催しています。

● 交流の場を生かして積極的に勧誘

各クラブでは、地域サロン活動の場を生かし、積極的な勧誘を行っています。例えば、村老連の事業に参加した会員たちが、事業で楽しかったことなどを地域サロン活動の場で話すことで、非会員が事業に関心を持ち、入会するケースが多々あります。また、各クラブでは参加者の希望を取り入れながら地域サロン活動を充実させることで、会員増強に取り組みました。その結果、5年間で108名の会員増を実現することができました。

「ダレデモ・カフェ」を開催し、活動をPR

東京都目黒区 東根会 会員数 226名

● 行事や定例活動の充実を目指す

会員数減少の原因を調べたところ、「行事に参加しても楽しくない」との声があったため、「100万人会員増強運動」では各行事や定例活動を充実させることに注力しました。具体的には、以下のような取り組みを行いました。

- ①1回1回の行事を充実させ、参加した方が「また来たい」と思ってくれるようにした。
- ②総会と新年会で各サークルの活動をそれぞれの責任者がアピールし、新規の参加者を募った。
- ③「ダレデモ・カフェ」など、会員・会員外を問わず気軽に参加できる行事を組んだ。
- ④年1回、所属する町会（6町会）の掲示板に会員募集のポスターを掲示しているほか、各戸には回覧板でお知らせを行っている。
- ⑤役員会を充実させ、綿密な打ち合わせを繰り返す行うことで、役員の意識を高めるようにした。

● 参加者もスタッフも楽しむ

上記③の「ダレデモ・カフェ」は、役員会でさまざまな検討を行った結果、地域の高齢者が気軽に足を運べる“おしゃべりの場”を設けようということになり、平成28年4月より民生委員の方たちを中心にスタートした行事です。

区が設置する「老人いこいの家」では、ほぼ毎日様々な活動を行っているが、そこを会場として、



ダレデモ・カフェ

毎月1回、第2水曜日の午後にオープンする「ダレデモ・カフェ」では、コーヒーや紅茶、緑茶などをすべて無料で提供しています。参加者もスタッフも楽しむことをモットーに、手品やアコーディオンの演奏会、ウクレレの演奏会、全員で歌う会、フラダンスなど、さまざまな催しを行っています。また、常に参加者の声を聞き、何を求めているのか、何が大切かをしっかり把握するように努めています。

PR活動としては、チラシを作成して町内会の掲示板に掲示するとともに、回覧板にもチラシを入れています。また、会員のお孫さん手づくりによるクラブの毎月の活動予定表も配布しています。

● 各行事や各部門の活動者が3倍に

これらの活動により以下の成果がありました。

- ①各行事や各部門の活動者がこの5年間で3倍になった。
- ②参加した方が「楽しかった」と友人に声をかけることで、8名、23名、20名、21名、14名と5年連続で会員数が増加。この5年で新規の入会者は86名にのぼった。
- ③会員の方たちにクラブの毎月の活動予定表を配布することにより、活動率がアップした。
- ④住区や町会とのつながりを持つことにより、地域の方がクラブの入会についても推進してくれるようになった。



ダレデモ・カフェ

ここが
ポイント
!

● 会員・会員外を問わず気軽に参加できる行事を組んだ

● クラブの毎月の活動予定表を配布することで、活動率がアップした

1 勧誘からはじめよう！

2 クラブをPRしよう！

3 クラブをつくらう！

4 組織的推進をはかろう！

「会員増強運動の推進検討会」報告

町内会の助成を受けて、加入勧奨を図る

福島県福島市 桜台桜寿会 会員数 101名

● 広報誌「あづまっぺ」を発行

桜台桜寿会では、平成25年4月1日の会員数が前年度よりも3名減少して81名となったことから、会員に喜ばれる活動を展開するとともに、積極的な会員増強運動を行いました。

具体的には、会員に楽しんでもらうため、各種サークル活動の充実に力を入れています。また、



さくらサロンでゲームを楽しむ

行きたいときに自由に行って、おしゃべりやゲーム、食事などをしながらのんびり過ごせるサロン活動を午前10時から午後4時まで開催しています。

町内会の協力を得て新規加入に該当する方に加入勧奨を図るほか、平成27年より広報誌「あづまっぺ」を年4回作成し地区内に配布することで、当クラブのPRと加入勧奨を推進してきました。

● 会員数100名の大台に達する

こうした活動と合わせ、会長自らが事あるごとに桜台桜寿会への加入を呼びかけるなど、会員増強に積極的に取り組んでいます。

これらの取り組みの結果、「100万人会員増強運動」がはじまった平成26年には6名の新規加入者を迎えました。2年目には1名、3年目には3名、4年目には4名、5年目には6名と毎年着実に会員を増やし、会長が目標として設定した会員数100名の大台に達することができました。

地域活動に積極的に参画し、輪を広げる

神奈川県二宮町 緑が丘ゆめクラブ 会員数 117名

● クラブ・サークル活動の活発化を図る

緑が丘ゆめクラブでは会員増強を目指し、以下のような取り組みを行いました。

- ①コーラス部、書道部、絵を描く会、健康麻雀、カラオケ会、ダンベル体操教室などを設置。
- ②歌声サロンやバス旅行、バーベキュー大会、健康講座、文芸講座など、充実した行事を実施。
- ③学校登校見守り、地域の美化活動、「お助けネットワーク」による手助けを実施。
- ④「緑が丘シニアだより」を毎月発行し会員に配布するとともに、自治会の回覧として情報発信。
- ⑤自治会行事、社協部会行事「通いの場」などへの積極的な参加・協力。

● 心身の健康増進や介護予防にも寄与

このように当クラブでは、充実した活動を実施してクラブの魅力を高めるとともに、地域貢献活

動にも積極的に取り組みながら、仲間づくりを推進してきました。その結果、「100万人会員増強運動」の5年間で52名から117名と55名の大幅な会員増を達成し、当地区における65歳以上の方のゆめクラブ加入率は10%から21%に上昇しました。

また、クラブ・サークル活動や全体行事への参加者も増加したことで、多くの会員の方たちの心身の健康増進や介護予防にもつながっています。



「健康講座」元気の出る歌と脳トレ体操

サークルを次々と新設し、参加を促進

大阪府交野市 倉治老人クラブさんゆう会 会員数 462名

● 解散の危機を乗り越えて

当クラブは、昭和35年に「倉治老人クラブ」として誕生しました。会員数128名からスタートし、昭和58年には287名まで増加しましたが、以降は減少の一途を辿ることとなりました。平成20年には会員数が112名まで減少し、解散の危機に直面しましたが、当クラブはここを「復活・躍進宣言の年」と決意。地区役員全員がキーパーソンとなることを誓い合い、強力な会員増強運動を開始しました。以下に、その取り組みの一部を紹介します。

- ①情報誌「さんゆう会ニュース」を発刊し、行事案内や活動状況、トピックス、会員動向などを発信。
- ②“老人”というイメージ新のため愛称を募集し、「さんゆう会」に決定。さんゆう会とは、ゆとりの「悠」、よき友の集いの「友」、遊び上手は長寿・健康の元の「遊」の3つの「ゆう」を意味する。
- ③活動拠点「いこいの郷」が誕生。

● 活動拠点「いこいの郷」をフル活用

このように当クラブでは平成20年より10年以上にわたって会員増強に向けて取り組んでおり、平成26年からの「100万人会員増強運動」では特に以下の活動に注力しました。

まずは、会員の要望を取り入れたサークル活動や同好会をつぎつぎに新設しました。現在は健康



小学校児童の見守り活動



社会奉仕の日

マージャン教室や歌声喫茶、俳句教室など16のサークル・同好会があります。

平成24年に誕生した活動拠点「いこいの郷」をフル活用するとともに、トイレの改装とバリアフリー化を実施しました。「いこいの郷」オープン時の利用者は1,900人でしたが、平成30年には7,857人の方が利用するまでになりました。

また、健康寿命を伸ばすことを目指し、元気アップ体操教室など、健康づくりへの取り組みも充実させています。さらに、「さんゆう会ニュース」による情報発信、他地区の単位クラブとの交流会、地域貢献活動への参加も積極的に行いました。

● 設立以来の最多会員数を達成

こうした取り組みの結果、「100万人会員増強運動」スタート前は232名だった会員数は、平成30年には約2倍の462名となり、設立以来の最多会員数を達成することができました。

活動拠点「いこいの郷」を有効に活用し、多彩なサークル活動を展開することでクラブの魅力が向上したこと、また地域貢献活動に積極的に参加することで地域でのクラブの存在価値が高まったことなどが会員増強に結びついたと考えています。これからも「温故創生」「常にチャレンジ」「継続は力なり」を会員の合言葉に、さらに魅力あるクラブづくりに取り組んでいきたいと思っています。

ここが
ポイント
!

●活動拠点「いこいの郷」を活用し、多彩なサークル活動を展開

●地域貢献活動に積極的に参加し、地域でのクラブの存在価値を高めた

1 勧誘からはじめよう!

2 クラブをPRしよう!

3 クラブをつくろう!

4 組織的推進をはかろう!

「会員増強運動の推進検討会」報告

魅力的で楽しい行事の開催

奈良県生駒市 鹿ノ台北桜美会 会員数 216名

● 行事の種類を増やし、内容も楽しく

鹿ノ台北桜美会では、平成16年から会員の減少傾向がつづき、平成25年には会員数が44名まで落ち込みました。こうした状況に危機感を抱き、平成26年度からは会長交代による新体制の下、新たな気持ちで会員増強運動をスタートさせました。

まず行事を楽しいものにするため、企画や演出に力を入れました。その結果、「非常に楽しかった」と言って帰られる方が増え、次回には友達などを誘って参加する方も多く見られるようになりました。

同時に、3種類だった行事を8種類に増やしました。その一例に「いきいき百歳体操」があります。これは生駒市老人クラブ連合会が生駒市地域包括ケア推進課と共同で企画・推進しているもので、当クラブもこの企画に乗って毎週金曜日の午後で開催しており、参加者からは大変好評を得ています。

このように行事の種類を大幅に増やしたことで、平成30年度は月に11回、年間で127回の行事を開催し、月に延べ268名の方たちがいずれかの行事に参加してくれました。

● 入会金・年会費を無料に

当クラブでは月報を発刊し、会員全員に配布しています。月報には、先月の行事の様子や今月の行事日程などクラブの情報をきめ細かく掲載しており、この月報が会員をつなぐ役割を果たしてい

ます。

また、平成27年度までは会員のみなさんから500円の年会費をいただいていたましたが、平成28年度からは入会金・年会費を無料としました。会の運営費は市老連や自治会からの補助金で賄っています。入会金・年会費を無料にしたことで、勧誘がしやすくなったとともに、幹事にとっては集金業務にあてていた時間を友愛活動に振り向けることができるようになったなどのメリットがあります。

● エネルギーが新たな仲間を呼び込む

「100万人会員増強運動」スタート前の平成25年の会員数は44名でしたが、毎年多くの新規加入者を迎えることができ、平成30年には4.9倍の216名までになりました。

同時に、鹿ノ台北桜美会を生活の楽しみの場とする人が増えている、いきいきした方が増えている、マージャン仲間や体操仲間などから新たな仲間が広がっている、行事の前準備や後始末を進んでやる方が増えている、サロン（自由な集まり）が増えているなど、さまざまな成果が表れています。

元気な方、いきいきした方が増えると、その方たちによって鹿ノ台北桜美会が活気づき、行事を開催する会場にも大きなエネルギーが満ちてきます。そのエネルギーが参加した方に元気を与え、新たな仲間を呼び込んでいるのだと思います。



愛称「クニちゃん」サロン



いきいき百歳体操

ここが
ポイント
!

● 行事をさらに楽しいものとするため、企画や演出に力を入れた

● たくさんの人に参加してもらうため、行事の種類を大幅に増やした

クラブの愛称を募集し、地域住民へPR

大阪府交野市 きさいち 私市山手さわやかクラブ 会員数 145名

●誰でも参加できるサークル活動

当クラブでは、「楽しく・仲よく・助け合い」のスローガンの下、楽しさを第一に活動しています。

その一環として、サークルの数を増やし、誰でも参加できるようにしました。現在は、麻雀、パソコン、おしゃべり会、カラオケ、ポピーの会、フラ体操、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、歩こう会、お助けクラブの10サークルがあり、会員以外の方も参加できるようにしています。ちなみに、お助けクラブは、包丁砥ぎや植木の刈込みなどのお手伝いをするサークルです。また、「会員募集のご案内」を作成・配布するとともに、クラブの愛称を自治会も含めて募集し「さわやかクラブ」とするなど、地域住民へのPRにも力を注ぎました。

●人と人とのつながりが大切

これらの活動により、「100万人会員増強運動」

期間中は毎年確実に会員が増加し、5年間で47名の会員増となりました。

当クラブでは、勧誘を優先した活動はせず、楽しさを第一に取り組んできました。会員以外の方に「ちょっと手伝ってもらえませんか」と声をかけてさまざまな行事のお手伝いをお願いし、まず対話ができるように取り組んだ結果、人と人とのつながりができ会員増に結びついたと考えています。



社会奉仕の日

会員の特典を活用し、老人クラブをPR

高知県 室戸市老人クラブ連合会 クラブ数 23 会員数 1,150名

●市老連全体で会員増強を目指す

室戸市老人クラブ連合会では、以下のような取り組みを行いました。

- ①月1回の役員会で活動状況の報告・検討を行う。
- ②休会の申し出のあった単位クラブに会長と事務局が出向き、地区の有力者の協力を得て後継者探しを行う。
- ③会員が減少した単位クラブには会員増強のポイ



運動会の応援合戦

ントを教える。

- ④5名以上の会員増強を果たした単位クラブには活動費の補助を行う。
- ⑤会費を柔軟に設定する（夫婦は1人分の会費、90歳以上および困窮者は免除など）。
- ⑥会員の特典（プールや合唱団コンサートの割引券）を活用し、老人クラブをPRする。

●各単位クラブに運動の意義が浸透

取り組みの結果、5年間で163名の会員増となりました。これは、各単位クラブに会員増強運動の意義がしっかりと浸透し、会員一人ひとりが真剣に運動に取り組んだ成果だと思います。

また、5年間の会員増強運動に伴い、各単位クラブ間の増減の差が少なくなり平準化されたほか、各単位クラブの活動が活発になってきたことも大きな成果といえます。

1 勧誘からはじめよう！

2 クラブをPRしよう！

3 クラブをつくらう！

4 組織的推進をはかりよう！

「会員増強運動の推進検討会」報告

運動

3

クラブをつくろう！

未設置地域にクラブをつくろう
休会クラブの復活を



クラブの新設に向けては、特に地域においてクラブと密接なつながりのある自治会や民生委員など地域の関係団体と連携することが、有効な取り組みとしてあげられています。一方、新興住宅地やクラブが解散した地域では、クラブが存在していない未設置地域があります。こうした地域に住む高齢者にもクラブ活動に参加できるように、解散クラブ会員へのサポート、行事への参加呼びかけをはじめ地域の理解を得て、休会クラブを復活させた取り組みなど会員増加に成果をあげています。



- 名古屋市南区 第10宝寿会 …… p17
- 神戸市中央区 ポー住宝寿会 …… p17
- 鹿児島県 大崎町老人クラブ連合会 …… p18
- 沖縄県 浦添市老人クラブ連合会 …… p18
- 沖縄県 中城村老人クラブ連合会 …… p19



単位クラブ未設置地域へ勧誘活動を展開

名古屋市南区 第10宝寿会 会員数 96名

● 存続の危機を乗り越え、活動を活性化

第10宝寿会は、平成27年度半ばに前代表の体調不良により活動休止となり、代表の引き受け手もなかったため存続が危ぶまれる事態となりました。しかし、地域の強い要請により現代表が引き受け、新役員を中心に以下の取り組みを行いました。

- ①当クラブ結成区域の居住者名簿を整理し、会員登録の有無、独居老人などを確認。
- ②見守り、避難訓練、交通安全、特殊詐欺被害防止のサポート活動の実施。
- ③当クラブ結成地域以外の住民で、単位クラブが地域に存在しないことによる未加入者に市老連広報誌を配布し、勧誘活動を実施。
- ④グラウンド・ゴルフ倶楽部を設立し、未加入者への勧誘活動を実施。
- ⑤平成30年9月から学区コミュニティセンターにてサロンを開設し、100歳体操教室を実施。

● 地域全体の会員増強を目指す

これらの活動の結果、平成26年4月1日には41名だった会員数は、平成30年には96名と倍増以上となりました。今後は、新設老人クラブへの協力や既存クラブとの交流、各種行事の開催を通じ、当クラブのみではなく、地域全体の老人クラブの会員増強を図っていききたいと思います。



大江川緑地公園にてお花見会

解散したクラブの会員サポート体制を構築

神戸市中央区 ポー住宝寿会 会員数 124名

● 地域支援活動を通じて行事を案内

市老連が掲げる6つの目標の中で、「会員減少がづくクラブは減少傾向に歯止めをかけよう」「年間1クラブ、2～3名の増を目指そう」という2つを中心に据え、以下の取り組みを行いました。

- ①活動地域が集合住宅である利点を生かし、高齢者見守り活動などの地域支援活動を通じて、クラブの行事への参加募集活動を実施。
- ②近隣老人福祉施設で友愛・奉仕活動を実施。



老人福祉施設で合唱等披露

- ③ふれあいコーナーを月2回開催し、脳トレーニングや体操などを実施。会員同士のコミュニケーションを図るとともに、会員以外の方の参加も募った。
- ④役員や会員が各行事の内容や感想を話し、口コミによる入会促進を図った。

● 取り組みを通じ、会員の意識も向上

「100万人会員増強運動」の取り組みを通じて、毎年着実に会員が増え、5年間で21名の会員が増加しました。会員同士がよりよいコミュニケーションを図ることでクラブが活性化し、その中で口コミによる勧誘活動を行ったことが会員増強につながったと思います。また、会員の意識が向上したことで、周辺でクラブの解散があった場合、他のクラブと連携をとりながら、解散したクラブの会員の受け入れや相談に応じる体制もでき上がりました。

1 勧誘からはじめよう！

2 クラブをPRしよう！

3 クラブをつくらう！

4 組織的推進をはからう！

「会員増強運動の推進検討会」報告

町の協力を受け、8クラブが新たに誕生

鹿児島県 大崎町老人クラブ連合会 クラブ数 21 会員数 586名

● 地域の支援を受け、勧誘活動を展開

大崎町老人クラブ連合会は、昭和38年に大崎町で結成され、今年で58年を迎えました。

当老連では、「100万人会員増強運動」期間中、「積極的な声かけ」をモットーに活動を行いました。また、町は地域からクラブをなくさないように、単位クラブの新設や復活にあたっては少人数でも単位老人クラブとして認めてくれるなどの支援をしてくれました。そうした地域の応援を背景に、いきいきスポーツ大会やレクリエーション大会、グラウンド・ゴルフ大会などさまざまな場で声かけをするとともに、町の事業でクラブのPRを行ったり、町会報で会員募集を行ったりと積極的な勧誘活動を展開しました。

● 各種同好会への参加者増加を目指す

「積極的な声かけ」をモットーとした活動、そし

て少人数でも単位老人クラブとして認めるという町の支援などにより、「100万人会員増強運動」開始時は13だったクラブは8つ増え、現在は21クラブとなっています。また、488名だった会員は現在586名となり、5年間で98名増加しました。

今後は、各種同好会への参加を呼びかけるなどの取り組みを行い、クラブ数や会員数をさらに増やしていきたいと考えています。



いきいきスポーツ大会

休会中のクラブに、市老連への加入を促す

沖縄県 浦添市老人クラブ連合会 クラブ数 29 会員数 1,438名

● 休会クラブの解消を目指して

浦添市老人クラブ連合会では、クラブ数および会員増強に向け、以下の活動を行いました。

- ①休会中の単位クラブに市老連三役で訪問し、市老連の事業を紹介。市老連への加入により福祉バスの利用が可能となり、会員の活動の幅が広がるなどのメリットを説明し、市老連への加入を促した。
- ②自治会の中でも老人クラブは核となる団体であ

ることを説明し、事業運営だけでなく役員体制などについても各自治会長に協力をお願いした。

これら「100万人会員増強運動」により、休会中だった1クラブが復活するとともに、5年間で191名の会員が増加しました。

● 単位クラブの活動も活発化

こうした取り組みにより、各単位クラブの活動も活発化しています。

例えば、若手会員が増えてきた単位クラブでは、年代に合わせたさまざまな活動に興味を持つようになり、特にボウリングやグラウンド・ゴルフなど派遣がある事業には多くの若手会員が参加するようになりました。また、自治会長自らが老人クラブの会員になるところも増えてきており、自治会OBに加入を呼びかけるなど、支援する体制ができて上がってきました。



ガンジューまつり

休会クラブを解消し、4クラブを復活

沖縄県 中城村老人クラブ連合会

クラブ数 15

会員数 1,028名

● 三大大行事への積極的な参加者集め

中城村老人クラブ連合会では、会員増強に向けて主に以下のような取り組みを行いました。

まずは、休会クラブの解消です。行政有力者や自治会長、地域有力者を活用し、老人会の意義を訴えて理解を得る活動を展開しました。その結果、平成25年には11だったクラブは、「100万人会員増強運動」の5年間で15クラブに増加しました。

また、三大大行事（老人クラブ大会、老人文化作品展覧会、大忘年会）への積極的な参加呼びかけを実施しました。これらは老連にとって楽しい行事であるということを訴えた結果、三大大行事で延べ1,200名の参加を得ることができました。

合わせて、スポーツ大会（ゲートボール大会、グラウンド・ゴルフ大会、輪投げ大会、ボウリング大会）への積極的な参加呼びかけも行いました。これらの行事は健康増進・親睦交流の場であるとともに、憩いの場であることを発信した結果、スポーツ大会への年間延べ参加選手は1,700名となりました。

● 合同研修会で課題や解決策を共有

当老連では、村から介護予防事業を受託する形で、ヨガ教室や大正琴教室、民謡教室、フラダンス教室、手芸教室、カラオケ教室の6教室を開催しており、教室に参加した老人クラブ未加入者が



敬老会



グラウンド・ゴルフ大会

新規会員になる例も多数あります。教室参加者による口コミ作戦を実施することで、会員増強を図っています。

また、会員増強に向け、単位クラブ正副会長・会計および老連各部長による合同研修会も実施しています。合同研修会では、活動状況や魅力ある会づくり、会員増強策、後継者づくり、悩みなどをテーマにパネルディスカッションを行いました。課題や解決策・成功例などの共有を図った合同研修会は、50名の参加者にとって大きな活力となりました。

これらの活動に加え、当老連では村慰霊塔周辺の奉仕作業、村内3小学校低学年との交流会、高齢者施設への友愛訪問、独居老人宅への友愛訪問などさまざまな活動を通し、老人会の活動を積極的にアピールしています。

● 会員一人ひとりのたゆまぬ努力の成果

こうした取り組みにより、前述のように単位クラブは4クラブ増加し、11クラブから15クラブになりました。

また、「100万人会員増強運動」スタート前の平成25年には635名であった会員数は、会員増強運動1年目には12名増、2年目には93名増、3年目には158名増、4年目には87名増、5年目には43名増で、合計393名の増加となりました。

これらの成果は、会員一人ひとりと単位クラブ会長のたゆまぬ努力によるものです。

ここが
ポイント
!

●行政有力者や自治会長、地域有力者を活用し、休会クラブを解消

●合同研修会により単位クラブ正副会長や老連各部長の意識向上を図る

1 勧誘からはじめよう！

2 クラブをPRしよう！

3 クラブをつくらう！

4 組織的推進をはからう！

「会員増強運動の推進検討会」報告

運動

4

組織的 推進をはかるう!



会員増強運動を組織的に推進するために、市区町村老連の組織内に、取り組み体制の検討する場を設け、運動の効果を高めることが有効です。

役員をはじめ高年・女性・若手会員など老人クラブ関係者を中心とし、必要に応じて行政、自治会、民生委員など地域の関係者にも参画いただき協力・支援を得ることも運動の推進力につながります。委員会や役員が中心となって運動を牽引したり、会員増加にむけてクラブの目標を設定し、単位クラブの情報共有や、研修会を開いて意識向上をはかるなど、市区町村老連が主体となって組織的に運動をすすめ、成果をあげています。



- 東京都 目黒区老人クラブ連合会 …… p21
- 京都市 南区すこやかクラブ連合会 …… p21
- 大阪府 交野市星友クラブ連合会 …… p22
- 堺市 南区新樽尾台校区老人クラブ連合会 …… p22
- 山口県 周南市老人クラブ連合会 新南陽支部 …… p23
- 佐賀県 鹿島市老人クラブ連合会 …… p23



各単位クラブの目標人数を設定し、健闘を促す

東京都 目黒区老人クラブ連合会

クラブ数 40

会員数 4,228名

● 各単位クラブの広報活動を支援

目黒区老人クラブ連合会では、会員増強を目指し、以下のような活動を実施しました。

- ①各単位クラブが目標人数を決め、各会員への声かけを行った。
 - ②各単位クラブでチラシを作成し、日々の活動の中で配布したり、区役所の展示スペースを一定期間借りて掲示するなどして勧誘を行った。
 - ③以前活動賞を受賞した東根会の「ダレデモ・カフェ」をモデルに、いくつかのクラブでサロンを開設し、会員以外の地域の方の参加を促した。
- また、老連としては「手のひら健康バレー」の普及促進により会員増強を目指すとともに、各単位クラブの広報活動を積極的に支援しました。

● サロン活動の展開が会員増につながる

これらの活動により、「100万人会員増強運動」

の1年目には144名が新たに入会し、2年目には65名増、3年目には50名増、4年目には47名増、5年目には28名増と5年連続で会員増を実現し、合計334名の会員を増やすことができました。

声かけやチラシの配布・掲示による勧誘に加え、区設置の「老人いこいの家」が老人クラブの活動拠点となっており、サロン活動が活発に展開したことが会員増につながったと考えています。



手のひら健康バレー

研修会を開催し、リーダーや女性・若手を育成

京都市 南区すこやかクラブ連合会

クラブ数 82

会員数 4,795名

● 財務の改善と活性化を目指す

当老連では、「活性化3か年計画」時より財務の改善と活性化（新規事業の取り組み、事業の工夫）によって会員増強に取り組んできました。

初年度より「リーダー研修会」「若手・女性委員合同研修会」を実施し、会員勧誘の協力依頼を行いました。残念ながら、初年度は前年に比べ会員

数が33名減少しましたが、2年目以降は8年連続で増加し、「100万人会員増強運動」の5年間では222名の会員が増えました。これらの研修会は、若手や女性の育成にも寄与し、今年度は地区の女性会長が4名誕生しました（昨年度は0名）。また、女性の単位クラブ会長も昨年度より6名増えて42名となり、全体の51%を占めるまでになっています。

● 南区の約4割の世帯にチラシを配布

平成27年度には会員募集のチラシを作成し、自治会連合会を通じて南区約45,000世帯の約4割に配布しました。そして、平成29年度、当老連は創立50周年を迎えることができ、これを機に「南区老人クラブ連合会」から「南区すこやかクラブ連合会」へと名称を変更しました。

5年間連続して会員増強を実現できたのは、事業の活性化や女性の登用、会員勧誘などさまざまな取り組みの相乗効果だと考えています。



健康麻雀サロン

1 勧誘からはじめよう！

2 クラブをPRしよう！

3 クラブをつくらう！

4 組織的推進をはかろう！

「会員増強運動の推進検討会」報告

会長会議で、単位クラブの情報共有を促進

大阪府 交野市星友クラブ連合会

クラブ数 24

会員数 2,179名

● 単位クラブの取り組みや成功例を共有

交野市星友クラブ連合会では、会員増強を目指して以下のような取り組みを行いました。

- ①月例会長会議において、2つの単位クラブより「100万人会員増強運動」に呼応した事例発表と質疑応答を行い、取り組みや成功例を共有。
- ②会員増を11年継続中の倉治老人クラブさんゆう会の見学会と交流会を実施。
- ③会長会の研修会を年2回実施（全員参加）。
- ④機関紙「交野星友」を年2回発行し、単位クラブの活動事例を紹介。

● 若手部会や女性部会の活動が活発化

「100万人会員増強運動」期間中の平成26年から平成30年の目標として会員数270名増を掲げていましたが、これらの取り組みにより345名増、達成率126%を実現しました。特に、5年間で

230名増を達成した倉治老人クラブさんゆう会は、交野市のモデルクラブとして他のクラブにも励みを与えました。また、若手部会や女性部会の活動の活発化により、活動や行事に参加する未加入者が増えたことも会員増強につながっています。

今後は「3か年300人会員増キャンペーン」を実施するとともに、会員のみなさんに喜んでもらえるように活動内容の充実・強化を図っていきます。



公式ワナゲ大会

「会員増強運動推進委員会」が運動を牽引

堺市 南区新檜尾台校区老人クラブ連合会

クラブ数 4

会員数 409名

● 校区役員会で取り組み状況を検討

当老連では、平成26年4月に「新檜尾台老人クラブ連合会会員増強運動推進委員会」を設置するとともに、各単位クラブにおいて年間10名増（4クラブで40名増）、5年間で200名増という目標を掲げ、以下のような活動を実施しました。

- ①入会案内のパンフレットを作成し、各単位クラ

ブに配布。

- ②単位クラブごとに「入会见込名簿」を作成。
- ③連合自治会の協力を得て、自治会回覧にクラブ活動への参加募集や会員募集チラシを配布。
- ④地域内掲示板に会員募集ポスターを掲示。

そして、取り組みの実施状況に関しては、校区役員会で半年ごとに把握・検討を行いました。

● 老人クラブの活動を地域の方にPR

連合自治会や地域関係団体の協力により、地域の方たちに会員募集チラシやクラブ活動への参加募集を配布することで、老人クラブの活動に興味を持った方が各クラブの活動日に見学に来られ、加入につながったケースもあります。また、会員募集チラシを活用した未加入者への各戸訪問や口コミなどの勧誘も会員増強につながりました。

以上のような活動により、「100万人会員増強運動」の5年間で80名の会員増となりました。



新檜尾台校区のお花見会

目標数値との対比を示し、意識向上を図る

山口県 周南市老人クラブ連合会 新南陽支部 **クラブ数** 40 **会員数** 1,760名

● 地区目標や各单位クラブ目標を設定

周南市老人クラブ連合会 新南陽支部では、増強対策委員会において5か年の地区目標、各单位クラブの目標を設定し、目標をクリアすることを常にPRしました。また、各事業年度の事業計画でも会員増強の呼びかけを行いました。

具体的な活動としては、未加入世帯への個別訪



いきいき百歳体操会

問や声かけ運動を実施したほか、新しいクラブづくりに向けて「百歳体操」や1泊2日の旅行案内を未加入地域にも回覧を回し勧誘を行いました。

● 未加入地域の自治会への情報提供

増強対策委員会共通の問題として、常に前年度の数値にこだわり、目標数値との対比を表にすることで、会員増強への意識向上を図ることができたと考えています。また、未加入地域の自治会に対して、増強対策委員会が情報提供を行うことで、加入意識を高めることができました。

これらの活動により、「100万人会員増強運動」開始前の平成25年には1,557名だった会員数は、14名、63名、57名、41名、28名と5年連続で増加し、平成30年には1,760名となりました。

今後も取り組みを推進し、会員増強を図っていききたいと思います。

懇話会で単位クラブの取り組み状況を共有

佐賀県 鹿島市老人クラブ連合会 **クラブ数** 51 **会員数** 2,502名

● 行政機関や区長との懇話会を実施

鹿島市老人クラブ連合会では、会員増強に向け、以下のような取り組みを実施しました。

- ①行政機関や区長との懇話会の場を設け、会員減少の実情を理解していただくとともに、会員増強のための協力依頼を行った。
- ②理事を中心に単位クラブ会長に協力を依頼し、



詐欺被害防止の活動

- 各クラブで会員増強に取り組んでもらった。
- ③毎年12月上旬に単位クラブ会長を招集し、会員増強懇話会を開催。親睦を深めながら、各クラブの取り組み状況について情報交換を行った。

● 未加入地域の自治会への情報提供

これらの取り組みにより、「100万人会員増強運動」の5年間で男性67名、女性94名、合計161名が新たに加入しましたが、脱退や自然減などにより100名の増加となりました。

新規加入会員の高年・若手の内訳については、高年43名、若手118名と若手の加入が多く、今後の活動の柱になってくれる方が増えたことで、活動がますます活発になると考えています。

また、各单位クラブが会員増強に積極的に取り組んだ結果、51クラブのうち22クラブが会員増となりました。特に、北鹿島地区は9地区とも毎年会員が増加しています。

1 勧誘からはじめよう！

2 クラブをPRしよう！

3 クラブをつくろう！

4 組織的推進をはかろう！

「会員増強運動の推進検討会」報告

「楽しい」クラブづくりで仲間を増やそう！

5か年連続会員増クラブ・連合会リーダーによる 「会員増強運動の推進検討会」報告

「老人クラブ100万人会員増強運動」（平成26～30年度）では、5年間連続して会員を増やしたクラブ、連合会が154団体※ありました。どのような取り組みや工夫が会員増につながったのかを学び、今後の取り組みに活かそうと、4名の会長にお集まりいただき検討会を開催しました。

※(団体紹介P30)

令和2年2月18日
東京都千代田区
「全社協会議室」開催



前列左から 青山、藤田、山口
後列左から 正立(全老連事務局長)、相原、齊藤

出席者

相原 勇二

千葉県浦安市老人クラブ連合会会長

山口 武志

東京都目黒区東根会会長

青山 雅宏

大阪府交野市星友クラブ連合会会長

藤田 登茂子

香川県丸亀市城北老人クラブ連合会
第9クラブ会長

齊藤 秀樹

全国老人クラブ連合会常務理事

会員増強につながった取り組み

司会 はじめに、会員増強につながった活動について教えてください。

● 継続した声かけ

山口 一つは、役員の意識を共有化しようと何度も話し合ったことです。その中でとても気になったことが、「参加しても面白くないという声がある」との一言でした。「来てよかった」と言ってもらうために、徹底的に行事の見直しを行い、サークル活動には責任者を置き「責任者会」を開催しました。

もう一つは、新しい行事を考えたことです。「抹茶を楽しむ会」には、日頃は来ない方々が参加していました。これをきっかけに誰でも気軽に参加できる居場所として、「ダレデモ・カフェ」を立ち上げました。初めは役員しか集まらず、「もうやめ

ようか」という話も出ましたが、今では毎回50名近くの方が参加しています。活動を通して年間10名ぐらいの人が入会され、会員増強の一つの牽引力になっています。

齊藤 人が集まるようになったのは、何が突破口だったのですか。

山口 諦めないでやり続けたこと。それと「声かけ」を徹底したことです。

藤田 私のクラブでは、女性委員長が中心となって、団地に住んでいる高齢者への声かけに取り組んだことです。会員から寄せられる情報をもとに、新しく入居してきた人や未加入の人などにくまなく声をかけクラブの説明をしました。また、未加入の方のところを訪ねる時は、その方と懇意な方に一緒に行ってもらうことにしています。活動面では、城北老人クラブ連合会（以下、「地区老連」^{※1}）の活動に参加するようになっていて、ウォー



相原 勇二

(あいはら ゆうじ)

千葉県浦安市老人クラブ連合会
会長

キングや交通安全、健康学習など、いろんな活動が魅力となっています。クラブでは5年間で約50名の加入者がありましたが、亡くなったり、施設に入られる方もいらっしゃり、最終的に17名の増加となりました。

齊藤 「会員増強運動」では、諦めずに声をかけ続けることが大事。そこは共通していますね。

山口 そのとおりです。「声かけ」を徹底してやっている、少しずつ芽が出てきます。

● リーダーの意識向上と話し合いの場づくり

相原 会長に就任した当時、単位クラブ会長の加入促進に対する意識の高さを感じ、連合会の役員も積極的に「増やそう」という意識をもって取り組まないといけないと思いました。そして、最初に行ったのが市長、副市長、担当の高齢者福祉課と役員の情報・意見交換会です。そこで「加入率10%以上を目指す」と宣言したのです。現在も年1回開催しています。

青山 一つ目は、毎月1回開催している会議と委員会です。単位クラブ会長による「全会長会議」、会長、副会長、幹事、会計、若手部長、女性部長が参加する「市星連役員会議」、若手部、女性部、スポーツ文化部が、各種行事やイベントに向けて開催する実行委員会も頻繁に集まっています。ここでの情報提供や話し合いにより、会員増への意識が高まりました。二つ目は、会員増となったクラブの取り組みが刺激となりました。三つ目は、若手部会と女性部会が行う充実したイベントが会員増に結びついたと思います。

● 情報提供と話し合いの場づくり

齊藤 みなさんのお話に共通していたのは、「中心になるリーダーの意識を高めない」と『会員増強運動』につながらない」ということでした。そこで重要な役割を果たしているのが、定期的に集まる



山口 武志

(やまぐち たけし)

東京都目黒区東根会
会長

場です。会長だけでなく複層的に情報伝達や話し合いが、行われているということです。

相原 私のところでは、毎月、単位老人クラブ会長会、さらに3つの部会と5つの委員会が月例会を行っています。欠席者には資料を郵送せず、事務局に取りに来てもらうようにしています。こうした取り組みが出席率の向上につながっています。

● 協力から始まる地域連携

齊藤 自治会や社協、民生委員など、地域組織とのつながりは、どうなっていますか。

相原 一番密接に関係のある自治会とは、連合会の月例会や地域の会合にオブザーバーとしてできるだけ参加させていただくようにしています。今後、老人クラブがないところには、自治会内の高齢者サークルと交流させてもらえないか、お願いしようと思っています。

藤田 私のところでは、先般、自治会の回覧で加入促進のPRをしてもらおうと、お願いしたのですが、思うように進んでいません。どのようにしたらよいか、みなさんに教えていただこうと思っています。

山口 自分たちにもメリットがあると感じてもらうまで、あれこれ行事に招待しました。その積み重ねで付き合いが広がり、回覧板や掲示板、余裕があれば会報に老人クラブの情報も掲載してくれる流れになっています。現在は、新年会と総会には必ず案内状を出しています。地域の住区会長・6町会会長や民生委員児童委員も10名ほど会員として活動しています。

青山 こちらが協力するという姿勢を見せれば、相手も協力してくれると思いますよ。

相原 浦安市には順天堂大学医療看護学部があり、その先生方と繋がりをつくり、「支え合い研修」を行っています。今年度は8回開催し、大学に協力いただいた6回は市民公開講座として実施して

1 勧誘からはじめよう！

2 クラブをPRしよう！

3 クラブをつくらう！

4 組織的推進をはかりよう！

「会員増強運動の推進検討会」報告



青山雅宏

(あおやま まさひろ)

大阪府交野市
星友クラブ連合会会長

います。

齊藤 日頃からの関係がいかに関心かということなのだと思います。

● 参加意欲を高めるカレンダー

齊藤 みなさん行事予定表を作って、いかに参加して楽しんでもらうかを工夫していってほしいですが、いかがですか。

山口 東根会では、毎月の活動予定表を会員にお配りしています。中には、仲間が予定表を届けに来てくれるのが楽しみで会員になっているという人もいます。地域の個人病院やレストランにも会員募集のチラシといっしょに置いてもらい、これを見て活動に参加する人も増えてきています。

相原 浦安市老連でも年間の行事を記載した「ベイシニア浦安健康カレンダー」を作成して、全会員に配布しています。シニアスポーツ大会以外は一般公開としているので、活動に参加した後、クラブに加入されることもあります。

● 活動拠点の確保と活動費

青山 仲間を誘って会員を増やすためには、集まる場所（拠点）があることも大きなポイントです。230人会員を増やした私のクラブ（倉治老人クラブさんゆう会／P13）には無料で使える場所があり、しかし、他のクラブでは、公民館や自治会館はありますが、有料なので会場費がネックになって活動ができないという問題もあります。

相原 浦安市は50クラブのうち37クラブが老人クラブ専用の会館をもっています。残りのクラブについても要望を出しており、来年度も1か所、建設計画があります。

青山 活動費について、私はいつも参加して楽しんでいる人がお金を払うべきだと考えています。単位クラブの会長になった当時、活動費のほとんどがカラオケクラブ（サークル）にあてられ、会



藤田登茂子

(ふじた ともしこ)

香川県丸亀市
城北老人クラブ連合会
第9クラブ会長

費はとらずに運営していたので、私が「会費を徴収する」と言って大反対されました。その後、会費を徴収するようになり、今では16のサークルが活動しています。お金を有効に使うにはどうしたらいいか、みんなで考えたから、これだけ増えてきたように思います。

連合会の役割

● 多様な後継者育成

司会 後継者不足によるクラブの解散が大きな問題となっていますが、どのように取り組んでいますか。

相原 浦安市も同じ問題を抱えています。そこで考えたのが自治会との連携です。自治会の役員に若いときから声かけをして、いずれは老人クラブの役員になってもらい、自治会での経験を発揮してもらえるようにつなげていってはどうかと考えています。

山口 うちは、サークルの責任者にできるだけ若手になってもらい、それを一つの人材育成の場にしていこうと考えています。サークル運営について相談にのりながら、少しずつ会全体の考え方を伝えていこうとしています。

青山 老人クラブは女性の会員が多いから、もっと女性の単位クラブ会長を増やしていきたいと考えています。今は女性の時代なのだから、女の人にももっともっと頑張ってもらいたいですね。

藤田 女性にとって有り難い言葉です。私の地区老連では、11クラブのうち約半数が女性会長ですが、女性が会長を引き受けるには、まだまだ多くのみなさんに盛り上げていただく必要があります。また、女性も前向きに受け止めて進んでいかないといけないと思います。ぜひ、よろしくお願いします。

齊藤 老人クラブの中だけで人材を求めるのでは

なく、日ごろ連携している自治会から将来のリーダー候補生を引っ張り込むというお考えもいいですね。また、興味のあるサークル活動に関わってもらい、徐々に責任ある立場についてもらったり、若手委員会など若い人に事業を任せてみるなど、解決策が見当たらない中、いろいろ取り組んでみることが大切ですね。

● 単位クラブの取り組みを応援

相原 私は今年度、全クラブの6割にあたる33クラブの月例会に出席させていただきました。連合会の宣伝を直接することもできて良かったです。一方、高齢の会長が一人で頑張っているクラブがあり、連合会として何か手助けしてあげなければいけないと思いました。来年度事業として、会員の少ない（50人未満）クラブを対象に連合会が勧誘イベントを手伝い応援しようと考え、先日、単位クラブの会長会議で提案したところ、8クラブから手があがりました。また、この会に参加して、会員数に関係なく会員が減っているクラブも対象にしようと思いました。

藤田 私のところの地区老連では、年に2回行っている「一円玉募金」約10万円の一部を、会員が参加する市老連の研修や事業にかかる参加費や交通費の補助にあてています。これを利用して、第9クラブからも多くの人が市老連の研修会等に参加しています。

これからの仲間づくり

司会 最後に、これからの仲間づくりに向けたお考えを教えてください。

青山 会員は増やさなければいけないと思っていますし、私は増えると思っています。これからは、現在8%の65歳以上の加入率の向上を目標に攻めていこうと考えています。

また、台風や豪雨など自然災害が増える中、交野市でも数年前に土砂崩れがあり、昨年、「災害対策部」を作りました。市や地域の自主防災会、民生委員などと連動して老人クラブも、災害時の支援体制を考えていく予定です。

相原 単位クラブの会長が「老人クラブは楽しい」「魅力がある」と、自信をもって勧誘できるよう、連合会としての応援を頑張りたいと思っています。

また、市内にたくさんある高齢者のサークルと交流して、「老人クラブに入ったら、こんないいことがあるよ」と伝えていきたいと考えています。

藤田 地区老連の会長として、自治会をはじめ地域とのつながりをつくること、活動に新しいものを取り入れることを忘れず、単位クラブの加入促進をお手伝いしていきたいと考えています。そして、会員に好評な活動や取り組み方法を市老連に伝えて、みんなで情報を共有していこうと考えています。

山口 すべての活動や行事において、「楽しい」というのが伝わるような流れをつくっていきたいです。また、地域を巻き込んだ行事をたくさん実施していきたいです。現在、小学校での盆踊り大会やお祭りに参加していて、最近では「輪投げ大会」を企画していると、PTAのお父さん、お母さんも参加し、地域の住区センターや6町会も応援すると言っています。

さまざまな行事や活動を通じて、老人クラブが地域貢献活動をしっかりしているという認識を深めていければ、地域からの老人クラブ加入を促進できるのではないかと考えています。

齊藤 「加入促進に近道はない」という言葉を、リーダーの方々からたびたびうかがう機会がありました。みなさんのお話を聞き、「ひとり一人に納得して老人クラブにお入りいただく」という意味でおっしゃったのだろーと思いました。楽しくないと人は集まらない。「参加して楽しかった」という体験をしていただくための努力が必要なんだと思いました。

また、地域あつての老人クラブだということです。ひとりよがりでもやっていても周囲から評価されない。地域を意識しながら日頃から活動していくことが大事だと感じました。

本日は、ありがとうございました。

※1 香川県丸亀市城北老人クラブ連合会

クラブ数11 会員数528名
主な活動は、サロン活動、丸亀城周辺ウォーキング、健康教室、交通安全教室の開催。コミュニティーセンター祭では、みんなでしめじご飯やおでん（700食）をこしらえて盛り上げています。こうした多様な取り組みが、単位クラブの加入促進を後押ししています。

※2 浦安市老連(P3)、交野市星友連(P22)、東根会(P11)の活動は事例集に紹介しています。

1 勧誘からはじめよう！

2 クラブをPRしよう！

3 クラブをつくらう！

4 組織的推進をはかろう！

「会員増強運動の推進検討会」報告



老人クラブが目指すもの（基本理念）

生きがいづくり

高齢期の充実

趣味・文化・レクリエーション等

健康づくり

健康寿命を伸ばす

健康学習・運動・体力測定等

仲間づくり

同世代の連帯・支え合い

例会・声かけ・友愛・親睦・旅行等

地域づくり

社会貢献

環境美化・リサイクル・ボランティア・世代交流等

① 趣旨

- 65歳以上人口が3,000万人を超える中、老人クラブは、新たな仲間呼びかけ、共に基本理念である「4つの“づくり”」活動を目指します。
- そのため全国の老人クラブ関係者が総力を結集して、組織活動の基盤となる会員増強に向けてこの運動を推進するものです。

② 運動期間

- 5カ年計画（平成26年度～平成30年度）
- 成果の取りまとめ・公表
 - ・ 都道府県・市町村別の目標を設定し、毎年度、達成状況を取りまとめる。
 - ・ このうち、都道府県の成果を公表する。

③ 運動目標

全国100万人会員増強

④ 主 唱

全国老人クラブ連合会 都道府県・指定都市老人クラブ連合会

⑤ 実施主体

市区町村老人クラブ連合会 単位老人クラブ

⑥ 運動スローガン

「総力を結集して 全国100万人会員増強を達成しよう!」

- ・ 高年パワー：75歳以上の高齢者は1,500万人。会員増強の中心世代です。
 - ・ 女性パワー：老人クラブ会員の6割は女性。女性会員の結束で勧誘活動を強化しよう。
 - ・ 若手パワー：若手高齢者も1,500万人。魅力ある活動は、若手会員自らが創造しよう。
- 運動は役員やリーダーの力だけでは、なかなか成しえません。
今こそ、老人クラブ会員のパワーを引き出しましょう！

⑦ 共通実施運動

- 会員増強を達成した成功事例をもとに、次の3つの取り組みを共通実施運動として提案します。
- 「会員増強に資する成功事例」で紹介した事例1～事例36を参考に、クラブの新設や既存クラブでの会員増を目指しましょう。
- 必要に応じて、この共通実施運動に加え、都道府県や市町村で独自に実施運動・目標等を設定しましょう。

3つの会員増強運動

運動① 勧誘から始めよう! 会員一人ひとりが勧誘の担い手です

運動② クラブをPRしよう! 知られていますか、あなたのクラブ

運動③ クラブをつくろう! すべての地域にクラブの設置を

⑧ 取り組み体制への提案

運動の効果が高まるよう次の取り組み体制を提案します。これらを参考に単位クラブや市町村の実情に応じて、具体的な取り組み体制や目標を設定してください。

単位老人クラブ

①「会員増強委員会」(仮称)の設置

- ・ 高年、女性、若手の複数名の代表者による委員会の設置
- ・ 老人クラブの自己点検
- ・ 地域内対象者の把握

②計画設定・会員との合意形成

- ・ 増強目標の設定
- ・ 勧誘の具体策について合意形成

③町内会、自治会関係者との連携

- ・ 計画の具体化に向けて町内会、自治会関係者の理解と連携

④勧誘・PR活動の推進

- ・ 地域の加入対象高齢者への勧誘
- ・ 市町村老連との協同による新たな老人クラブづくり

市区町村老人クラブ連合会

①「会員増強運動推進委員会」(仮称)の設置

- ・ 老人クラブ関係者のほか必要に応じて、行政、社会福祉協議会、自治会、民生委員、地域包括支援センター等の参画にも考慮しましょう

②老人クラブの実態把握

- ・ 会員数を「単位クラブ別」、「高年、女性、若手別」に把握しましょう

③相談機能の強化

- ・ 新たなクラブづくり、解散クラブ防止に向けた相談機能の強化

④目標の設定

- ・ 月間、半年、年間等の具体的目標を設定しましょう
- ・ 復活、新設、会員ニーズによる新たなクラブづくりを進めましょう

⑤成果の発表

- ・ 定期的に目標と達成情報を公表し、具体的な成功例を共有しましょう

100万人会員増強運動表彰 154団体

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
北海道	潮見老人クラブ 黒田 幸市	網走市潮見	①全員で会員増強に取り組む②活動を周知するチラシを配布③例会や年間行事を計画的実施（ふまねっと効果）
北海道	富士こぶし会 村上 松夫	千歳市富士	①町内事業（いきいきサロン・ぬくもり弁当配布）で活動をPRし勧誘②具体的な数値目標を掲げ、全員で取り組む③町内会との良好な関係が会員増加につながった
札幌市	円山西町幌見会 花田 吉治	中央区円山西 地区	①町内会と連携した見守り活動②パークゴルフを地域住民も参加できるよう活動を広げて交流を深めた③会員増員計画を着実に実行
札幌市	シニアすこやかクラブ 齊藤 洋子	中央区 豊水地区	①色々な事業を企画したことがクラブの魅力アップ②パークゴルフ同好会を母体にクラブが誕生③地域横断型のクラブで町内会と連携が図られ活動も多様化し会員増加につながった
札幌市	みずほ楓会 高澤 英治	厚別区 もみじ台地区	①魅力あるサークル活動や新ジャンルの開拓②会報配布や資源回収の呼びかけを自治会の協力で全戸回覧、未加入者の加入を動機づけ③町内会や地域団体と連携、地域行事にも積極的に参加、協力をはかった
岩手県	中堤町つつみ会 細田 重憲	盛岡市中堤町 青山地区	①町内会行事や老人福祉センター行事に参加し未加入者と交流、仲間づくりに努める②各種スポーツや趣味活動への参加を促す③会報を全戸に配布し、活動のPRを広くすすめた
岩手県	矢巾2区老人クラブ 藤田 昇	矢巾町 矢巾2区 行政区	①会員一人ひとりが未加入者に声かけをした②社協のサロンや役場主催の体操事業に積極的に参加、仲間づくりに努めた③サロン事業による地域の交流の場を積極的に設け、参加者増により加入につながった
岩手県	普代村老人クラブ 連合会 金子 英雄	下閉伊郡 普代村	①サロン活動（村事業）で地域住民と積極的な交流②各単位クラブのサロン活動が地域に広まり、クラブに対する関心を高めた③グラウンド・ゴルフ大会やシニアスポーツ等、参加者相互の交流と連帯感の醸成
福島県	西栄町三丁目 いきいきクラブ 安藤 哲夫	会津若松市 西栄町地区	①市老連事業（健康事業・作品展・奉仕・友愛事業等）に積極的に参加②研修旅行等により会員相互の親睦を図り退会者をなくす工夫③定期的に花植えや花壇の手入れ等を全会員で実施、地域住民の関心を高めた
福島県	東長原長生会 佐藤 信孝	会津若松市 河東町 東長原地区	①各種事業の実施時に際して勧誘②町内会の協力を得て、未加入者を活動に誘い勧誘③加入促進チラシ配布など地道な活動が効果につながった
福島県	岩法寺老人クラブ 草野 亀雄	石川郡玉川村 岩法寺地区	①地区内の未加入者に対し活動内容と楽しさを説明②花いっぱい運動やスポーツ大会で未加入者に参加の呼びかけ、活動を体験してもらう③年間を通して、きめ細かく加入の声かけをした
福島県	桜台桜寿会 小松 保	福島市 蓬萊地区	①各種サークル活動を実施②広報誌（あづまっぺ）により活動のPRに努めた③サロン活動を開催し、高齢者の居場所となり、地域の高齢者が自由に参加できるよう工夫した
栃木県	長寿会にっこり 新井 武夫	宇都宮市 駒生町 宝木地区	①工夫を凝らしたサロン活動に未加入者も誘い加入促進②自治会や民生委員との連携③活動内容が多岐にわたり誰でも気軽に参加しやすい活動を行った
栃木県	鹿島福寿クラブ 増田 昌男	足利市鹿島町 5丁目地区	①各班に理事と女性リーダーを配置し、情報の共有化をはかった②サロン活動の参加者に声掛け勧誘③小学生の下校時の見守り活動が地域から高く評価され存在感を高めたことが効果につながった

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
栃木県	木幡東交友会 野中 秀明	矢板市 木幡東地区	①ゴルフサークルを立上げ、若手男性を勧誘②女性の若手向け「きらきらサロン」により、未加入者も参加できるよう周知③サークル制の導入により関心の高いサークルに参加することで加入のきっかけづくり
埼玉県	柳寿会 難波 博	草加市柳島町 柳島地区	①活動を通して多くの人々と交流を図り、会員増強に関心を高めた②健康維持・生きがいづくりなど活動への参加を呼びかけ等地道な勧誘が会員増加につながった
千葉県	浦安市老人クラブ 連合会 相原 勇二	浦安市	①会員一人ひとりの口コミで会員の拡大をはかった②行事の際に会員募集の幟をたて、活動のPRをはかった③行事への自由な観覧④自治会との連携をはかり活動を通して会員の拡大につなげた
千葉市	シニア横戸台 石橋 政信	千葉市 花見川区 こてはし地区	①サークルに会員以外も参加を受け入れ、勧誘②会報誌の配布により広報PRを自治会の協力を得て、回覧ルートを整備③地域の関係団体への呼びかけ
東京都	東根会 山口 武志	目黒区 東根地区	①一人暮らし高齢者への声掛けに「ダレデモ・カフェ」を立上げ②行事内容の充実を図り、毎月の活動予定を配布し、活動率が上がり参加者が増えた③町会をはじめ、住区との繋がりを深めた
東京都	駒場寿会 高橋 祐一	目黒区 駒場地区	①クラブ活動のPRに掲示板を活用し、広く周知をはかった②サークルを新たに新設（手のひら健康バレー・英会話）して若年層へのアピールをはかった
東京都	長生会 山本 利男	目黒区 目黒本町 6丁目	①歩こう会や輪投げなど健康づくりが活発で定期的実施②吹き矢・健康麻雀を新たに立上げ、古い活動を大切に新たな活動も取り入れ会員を増やした
東京都	四谷清流クラブ 井上 勝章	府中市 住吉四谷地区	①趣味の集いでの口コミ勧誘が効果的②会員募集のPRビラを作成、配布③活動内容を「楽しく」をモットーにクラブを活性化している
東京都	北寿クラブ 奥永 和満	板橋区 大谷口北町 北親会地区	①町会と連携しPRや口コミ②活動の見直しを図り、麻雀（脳トレ部）、体育部（筋トレ）、行楽部（行くのが楽しい活動）へ参加者が増加③役員会などの組織改革をすすめた
東京都	東大泉ことぶき会 重田 紀子	練馬区 大泉東地区	①カラオケなど趣味活動が活発②活動を通して口コミで加入促進
東京都	目黒区老人クラブ 連合会 高橋 祐一	目黒区	①各クラブで目標を定め、それぞれ会員が積極的に声かけ②誰でも参加できるサロン活動に取り組むクラブが増え、地域の人々の参加が入会につながった③手のひらバレーの普及④単位クラブの広報活動の支援
神奈川県	相模台団地寿会 田邊 敏夫	相模原市 相模台地区	①団地外の入会を受け入れ、団地自治会と連携することで友好関係が広まり会員増につながった②グラウンド・ゴルフ、健康麻雀、カラオケなど多様な活動で参加機会を拡大し会員増につながった
神奈川県	緑が丘ゆめクラブ 片山 博	二宮町 緑が丘地区	①クラブ・サークル活動によりコミュニティ核づくり②地域のシニア層に呼びかけ仲間づくりを推進③ボランティア活動の推進で互助や助け合いが活発になった④情報の提供と共有化の促進⑤地域活動への参画
神奈川県	一色浜かもめ会 山崎 時彦	葉山町 一色地区	①会員募集ポスターの掲示、回覧等、行政や自治会と連携した広報活動②誰でも参加できる料理教室を毎月開催③高齢層への負担軽減に努め、若年層やサポーターの支援により高齢でも参加できるようにした

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
神奈川県	下山口浜百合会 沼田 典幸	葉山町 下山口地区	①手書きのチラシや回覧板、知人への入会呼びかけ②グラウンド・ゴルフや歩こう会、バス旅行等に参加を呼びかけPR活動③町老連と協力・連携し、女性の活力を活かし、地域の方が参加できるイベントを実施
神奈川県	小谷パールクラブ 右城 栄一	寒川町 小谷地区	①麻雀やグラウンド・ゴルフ等9つのサークルをはじめ未加入者に興味を与える活動をピックアップ、紹介②自治会との連携で会費の負担をなくして参加しやすく③会長を中心に全員が加入促進運動に取り組んだ
神奈川県	山崎駒千代会 府川 正美	南足柄市 東原地区	①自治会会員等へ積極的に声かけ②未加入者に対して行事や活動内容を説明③会員の特技や趣味を生かしてスポーツや健康づくり活動、友愛活動、世代間交流等に非会員を誘い、参加体験の機会づくり
神奈川県	コトーえん友会 河村 育雄	大和市 つきみ野地区	①自治会と連携、自治会行事への参加②イベント回数・内容や会費等を工夫して負担軽減をはかり、誰でも参加できるようにした③自治会の協力により対象年齢に達すると加入する仕組みにより若手も多数加入
横浜市	新町シニアクラブ 秋田 繁一	神奈川区 神奈川地区	①担当を決めて地域の実態を把握し、非会員に入会チラシを配付②友愛活動員を決めて地域の見守りに力を入れた③非会員の情報を共有し、横のつながりを活用して会員の口コミ勧誘をすすめた
横浜市	むさし新樹会 菅野 功	港南区 野庭団地地区	①クラブの役員が顔見知り声かけ②食事会など行事や友愛活動の際に勧誘③日頃の活動を通してクラブの存在が地域に認知されてきたことが加入につながった
横浜市	紫苑会 塩田 良英	港南区 野庭団地地区	①会員増強月間を定め（11月）声掛け、役員意識を高め目標を達成②定例会やそうめん流し等の行事を通じて加入の呼びかけを継続③地域の60代に対してボランティアとして協力を求め、加入につなげた
横浜市	美晴台福寿会 土屋 紀夫	港南区 永野地区	①知人への声掛け②体験入会や行事体験を通して老人クラブ活動の理解を得ながら入会につなげる③クラブ発行の「たより」を活用し周知をはかった
横浜市	泉寿会 中野 太郎	保土ヶ谷区 西部地区	①活動・行事の種目を拡大し参加意欲を高めた②増強会議を立上げ役員や会員の意識向上③自治会や民生委員との連携を深め地域との関係を樹立
横浜市	第一緑会 小川 京子	緑区 霧が丘地区	①会員各々が積極的に声掛けをして会員増加につながった②普段の老人クラブ活動を紹介する勧誘用のチラシを作成し、未加入者への理解を深めた③地区社協と連携を図り、老人クラブ活動の周知を行った
横浜市	牛久保東年輪会 梶井 正之	都筑区 中川地区	①幅広い年齢層や趣味等を考慮し企画をたて、参加したくなる環境を整えている②町内会の回覧を活用して老人クラブ活動を幅広く伝えた③町内会のイベントに参加し、積極的に勧誘活動を行った
横浜市	白寿会 相澤 常夫	都筑区 都田荏田地区	①全会員による入会可能な人への直接対面による勧誘を実施②友愛活動によるサロンを開催し、参加しやすい工夫と内容の充実により会員増につなげた③行事内容を充実し、新たな加入者の発掘に努めている
横浜市	小菅ヶ谷谷戸親睦会 田中 文夫	栄区 小菅ヶ谷地区	①楽しいクラブ活動を心がけ、入りやすい環境を整えた②町内会や福祉団体のサロンや食事会に参加し、加入促進③転入者にもきめ細やかに声をかけ、加入を勧めている
横浜市	ラーバン悠々クラブ 葛貫 光雄	栄区 本郷第三地区	①活動（ウォーキング・お茶会・健康麻雀、体操など）を通して口コミで参加者が増加②日頃から入会に向けた広報を実施③定期的な活動を実施し、近隣住民の加入につなげた

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
横浜市	いちょう団地 第一長寿会 高見澤 稔	泉区 上飯田地区	①各会員が友人を誘い、活動に参加してもらい加入につなげた②自治会活動に積極的に参加することで勧誘に努めた③人と人のつながりを大切にし、気軽な声かけなどにより会員増加につなげた
福井県	栃原結の会 野川 正文	永平寺町 栃原地区	①70歳から入会対象者のリスト作成、役員が毎年対象者を訪問、勧誘②事前に入会予定者にも声をかけ、若手の確保につなげている③若手の加入により地区内の行事に積極的に参加するようになった
福井県	新庄東いきいきクラブ 久保一二三	美浜町 新庄地区	①まとまりのあるクラブで役員が交代前に新入会員を勧誘②会員が率先して地域活動に参加③趣味や社会活動に力を入れたことによって地域住民の関心が高まった
山梨県	河西区 いきがいクラブ 萩原 馨	昭和町 常永地区	①カラオケ愛好会を定例で実施、区民にも周知②人気のグラウンド・ゴルフの開催日を昼の部・夜の部とし働いていても参加しやすく工夫③区の役員と連携を図り、役員等の役割や業務の一部を支援してもらった
山梨県	楽山老人クラブ 楽寿会 水越 洋	都留市 楽山地区	①自治会活動に積極的に参加②未加入の高齢者への熱心な声掛けで加入につなげた③事業のチラシ配布を自治会の協力を得て回覧して広くPRし、活動に参加できるようにきめ細かな情報提供をはかった
岐阜県	室えびす会 永澤 祥孝	大垣市 室本町、 木戸町地区	①活動内容の新聞掲載効果②名称変更③エリアに固執しない活動展開による地域住民との交流④新規会員の声が口コミで広まる
岐阜県	加賀野老人クラブ 喜楽会 平松 利美	大垣市 三城地区	①役員による丁寧な勧誘②地域もクラブの存在意義を良く認識③自治会との良好な関係を維持し会員増加につながった
岐阜県	シニア巾 桜井 興平	関市中町地区	①組織改編による運営の醸成②クラブの活性化、いきいきサロンの開催など50代、60代の予備軍も活動に参加③子ども会との世代間交流や民生委員との情報共有など地域の輪が広がった
岐阜県	小郷ふれあいクラブ 三浦 達郎	中津川市 加子母地区	①クラブ活動が地域住民の活力②クラブ活動を地域住民がよく理解③加入年齢に達すると自主的に加入
岐阜県	泉ヶ丘町長寿クラブ 河合 哲心	土岐市 泉ヶ丘町地区	①パンフレットや事業を通してクラブをPR②サークル活動や「安全サポート活動」など会員以外にも活動を周知③町内会行事や各種イベントへの協賛、参加して交流をはかった
静岡県	ぎおんクラブ 近藤 明彦	三島市 東部地区	①地道なPR活動②地域行事への積極的な参加やイベント開催が人とのつながりが加入につながった③常に新しい行事や教室を立上げ、魅力あるクラブ活動を推進した
静岡県	原分スマイルクラブ 秋山 正	長泉町 原分地区	①未加入者への入会勧奨と活動への参加を呼びかけ②地域の子ども会と連携した行事や認知症予防教室や居場所への参加を契機に加入③活動の楽しさを口コミで伝えることが入会につながった
愛知県	大免会 伊藤 嘉昭	岡崎市 竜美南地区	①「会員プラス1」という目標を掲げ、会員が積極的にチラシを活用しPR ②一人暮らしの高齢者への声かけ
愛知県	みどり西クラブ 佐久間昌寿	岡崎市 緑丘1丁目	①一人暮らし高齢者への地道な声かけ②一人暮らしの高齢者などへの見守りを兼ねた戸別訪問、チラシ配布など勧誘

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
愛知県	さくら寿楽会 木全 修平	岡崎市 愛宕学区	①クラブの休会をきっかけにして、地域の関係団体との関係を築き協力を得た②地域密着型の勧誘③多彩なサークル活動により趣味仲間が加入④地域行事への積極的な参加
愛知県	丸山成実会 山田 繁明	岡崎市 丸山町	①会員の増強目標を掲げた②戸別勧誘③地道な声かけが功を奏した③クラブの魅力を高め退会率を下げた
愛知県	滝新寿会 梅原 美徳	岡崎市 滝新地区	①8つのサークル（ゴルフ・俳句・手編みなど）の魅力を高めた②サークルを通じて勧誘が功を奏した③年2回発行の機関紙も好評
愛知県	大和クラブ 岡崎 喜行	岡崎市 大和町	①配偶者を誘う②会員以外へのサークルへの参加呼びかけが効果的③町内会・福祉委員会・社会教育委員会など地域の横のつながりを活用
愛知県	在家明生クラブ 谷本 省三	岡崎市 在家町	①65歳の未加入者への個別訪問による勧誘②勧誘により老人クラブをPRし、クラブを認識してもらい、存在を高めた
愛知県	不二が丘長寿会 大矢 孝彦	春日井市 不二が丘 (高蔵寺西部地区)	①行事を積極的に周知し参加者が増加し加入につながった②活発な活動が地域におけるクラブの魅力を高めた③同好会活動や定例会など会員の交流の場を設け退会者を少なくした
愛知県	うえのクラブ 落合 甫	春日井市 上野町 (坂下地区)	①名称変更によりイメージを一新②積極的な勧誘活動③町内会との協力関係を構築し未加入者へ勧誘
愛知県	いきいき四ツ谷 共楽会 加藤 健作	春日井市 篠木町 (篠木南地区)	①町内会との関係を深め会員募集②会員以外との交流の場を設け老人クラブ活動への関心を高めた③定期的なサロンや懇親会への参加者が増加
名古屋市	平田西永寿会 三輪田憲治	西区平田学区 城西町内	①未加入者や町内の喫茶店・店舗に機関誌を届けPRする②町内会役員の協力を得て老人クラブに参加してもらう③小学校のPTA経験者への勧誘
名古屋市	船北老人会 福島佐千男	瑞穂区御劔学区 船原町6丁目7丁目、 北原町1丁目 及びその近隣	①「はればれサロン」による仲間づくり②各同好会グループの会員を友愛活動員とし高齢者が参加しやすい活動を実施③「参加者が主役になって自ら楽しめる談笑の場」をフレーズに活動の楽しさを口コミで広げた
名古屋市	第10宝寿会 谷村 武	南区宝学区 営北頭 第2住宅地区	①活動休止クラブを復活②居住者名簿を整理し未加入者勧誘③当クラブ外の未設置地域の高齢者へ広報誌でPR、勧誘
名古屋市	吉祥会 鈴木 利雄	守山区瀬古学区 川西1～2丁目、 瀬古1～3丁目、 瀬古東1～3丁目	①クラブ活動の活性化に向けて多種多様な活動を実施②卓球・健康麻雀・グラウンドゴルフなど人気のある活動で親睦をはかる③地道な活動が口コミで広まり地域になくてはならない存在になった
名古屋市	藤栄なごやかクラブ 第一 長尾 滋男	名東区 藤が丘学区 朝日が丘町地区	①会員増強を重要課題として運動に取り組む②学区内のクラブと連携した活動③学区の区政会長や民生児童委員会など地域の関係者と連携した会員募集活動を実施
名古屋市	上社げんき会 春山 孝二	名東区 上社学区 貴船町地区	①会員募集チラシを作成②自治会や敬老会などの行事でPR活動③同好会の会員やクラブ会員の口コミ勧誘活動

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
京都市	南区すこやかクラブ 連合会 三浦 明	南区	①リーダー研修会や若手女性委員会合同会議での会員の勧誘への協力依頼②会員の募集チラシを複製、自治会を通じて配布③事業の活性化や女性の登用が会員勧誘の相乗効果となった
京都市	南大内新生クラブ 連合会 三浦 明	南区 南大内学区	①会員募集案内を学区内全戸に配布②事業の活性化が参加者を増やした
大阪府	私市山手 さわやかクラブ 寺本 儀久	交野市 私市山手地区	①サークルを増やし誰でも参加できる活動②会員相互のつながりを深め活動を展開し活性化を図る③地域住民への活動PRや行事のお手伝いなど活動協力を呼び掛け人と人のつながりをつくった
大阪府	倉治老人クラブ さんゆう会 青山 雅宏	交野市 倉治地区	①活動拠点「いこいの郷」を活用し多彩なサークル活動を展開②新たな事業を次々に取り入れ情報を発信し魅力あるクラブに③地区や校区福祉委員会との連携し地域貢献活動（ボランティア）に積極的に参加
大阪府	交野市星友クラブ 連合会 青山 雅宏	交野市	①月例会長会議の各クラブ活動報告で状況把握、情報を共有②クラブの優良事例を取り入れ新事業を開拓③未加入者でも参加できる若手部活動により若手の加入増④若手部と女性部が先頭に立って加入促進
大阪市	阪南第4長寿会 古澤 良昭	阿倍野区 阪南地区	①老人クラブの活動に関するPRを継続的に行う②他団体でボランティア活動実践者への勧誘③男性の入会率など一つ一つ課題を取り上げ、明確な目標を設定し運動の成果につなげた
大阪市	阪南第3長寿会 平井 敏之	阿倍野区 阪南地区	①ウォーキングを推進し手軽な健康づくりで勧誘②地域の各団体の役員に声をかけ続けている③若手の入会率や男性の入会率など一つの課題に成果がでたら次の課題と明確な目標を掲げて取り組み成果につなげた
堺市	新檜尾台校区 老人クラブ連合会 井上 善吾	南区 新檜尾台地区	①推進委員会を設置し組織的な取り組み②募集チラシ等を自治会等協力で配布、イベント等大勢の人が集まる機会にクラブ活動をPR③募集チラシを活用、役員や会員が未加入者を訪問し口コミ等での勧誘
兵庫県	海洋はつらつクラブ 本村 弘郎	芦屋市海洋町 南芦屋浜地区	①毎月のお楽しみ会を地区掲示板にて行事案内し、会員外にも呼び掛ける②サークル活動を定期的に行い参加率が高い③女性会員が多いので女性中心の集まりを作り未加入者も交えて楽しく活動
兵庫県	小池前万葉クラブ 中西 登	稲美町 小池前地区	①自治会で加入促進の協力を依頼（65歳以上全員加入に）②カラオケ教室などの新規企画事業で魅力ある活動を増やす③老人クラブ活動を通して、住民同士の交流が盛んとなり加入につながった
神戸市	本山 センチュリークラブ 久保 良治	東灘区田中町 2丁目地区	①幹事の意識が高く未加入者に声掛け参加②多様なサークル活動は未加入者の関心を高め、加入につながった③チラシ配布や訪問活動
神戸市	ポー住宝寿会 上原多見子	中央区 港島中町 3丁目地区	①減少傾向に歯止めをかける等明確な目標を掲げた②会員相互のコミュニケーションを深めて口コミによる勧誘③解散クラブへの対応（他クラブと連携して会員の受け入れや相談への対応）
神戸市	夢野団地1号館寿会 栗野 富江	兵庫区菊水町 10丁目地区	①日頃の挨拶や日常会話で老人クラブをアピール②行事予定や活動内容を誘うご案内を配布③趣味やサークルを通じて入会をすすめた
神戸市	松友会 西尾 薫	北区 松が枝町地区	①役員の役割分担によりクラブの組織改革②行事を見直し新たな事業やサークル活動を取り入れ③自治会掲示板を活用したPR等地域と連携を図りクラブへの認識を高めた

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
神戸市	日の峰シニアクラブ 井内 宏志	北区 日の峰1、 3～5丁目地区	①同好会活動が盛んでクラブの活性化②通学時の見守りや小学校行事への参加など地域活動への参加③地域団体とふれあい喫茶を共催する等地域と連携を図り仲間づくりを推進
神戸市	室内長生会 中橋 勲	長田区 室内小学校区	①自治会や民生委員への協力要請②友人知人への勧誘と未加入者への行事参加への声かけ③グループごとに運動の数値目標をたて運動報告を共有
神戸市	白川台むつみ会 中村 守義	須磨区 白川台地区	①サークルなど部会の活性化②非会員への積極的な呼びかけで会員増への意識が高まった③地域行事への積極的な参加と行事の運営支援を行った
神戸市	つつじが丘 シニアクラブ 井村由美子	垂水区 つつじが丘 地区	①参加しやすいサークルの立ち上げ②地域行事や子ども会とのイベントなどでの勧誘③自治会から老人クラブは「元気で楽しそう」との認識を得、地域との連携を図る中、クラブの存在意義を高めた
神戸市	きらくクラブ 延平 理	西区 井吹台西町 西神南地区	①安否確認や連絡の際に未加入者への勧誘②近隣住民に行事をアピールしたり地域のサークルに参加し勧誘③地域団体と連携をはかり仲間づくりをすすめた
神戸市	北山あけぼの会 名引 勇夫	西区 北山台地区	①役員が一丸となり明確な目標をもって取り組む②役員を中心に部活動が活発に行われ、地域活動を通じた仲間づくり②クラブ活動への見学や体験などを呼びかけた
奈良県	鹿ノ台北桜美会 川村 喜紀	生駒市 鹿ノ台地区	①行事を2つから8つにして楽しい活動を増やした②近隣仲間が増えて地域力が強化された③自治会の回覧で募集案内など協力を深め校区の連携がひろがった
奈良県	緑ヶ丘長寿会 奥田 徹	平群町 緑ヶ丘地区	①高齢者の居場所づくりとなる愛好クラブを設立し、孤立防止につなげた②自治会や地域の活動グループの活動に参加を呼び掛け連携を深めた③地域の各事業活動に参加し、会員増強運動のPRと理解を深めた
奈良県	川西町老人クラブ連合会 結崎団地支部 堀田 勝	川西町 結崎団地地区	①会報による活動情報の発信②友愛活動（サロン・訪問）や生活支援活動、行事など活動の充実を図る③個別訪問やクラブ活動への参加呼びかけなど積極的な加入促進
岡山県	平安会 林 勝	津山市 津山支部 城西地区	①町内会との交流②役員会を毎月開催し意見交換や交流により意識向上をはかり積極的な声掛け運動を実施③地域の行事に役員、会員が積極的に参加
岡山県	笠松いきいきクラブ 寺谷 守男	津山市 津山支部 城西地区	①廃部状態の老人会を町内会長や有志が復活させた②町内会で70歳以上の高齢者はクラブに加入するよう働きかけた③地域行事へ会員が積極的に参加協力
岡山県	中原楽笑会 清原 義治	津山市 津山支部 大崎地区	①毎年、町内会総会での活動報告により理解を深め、町内会の全面協力を得た②会員個々が未加入者を積極的に勧誘③忘年会など行事へ未加入者を誘い入会をすすめた
岡山県	工門長寿会 岡本 憲侍	津山市 勝北支部 新野地区	①町内会長や民生委員等他団体へ協力支援を要請②各会議において会員増強の意義を説明、共有、女性部長などリーダーシップを発揮③地域の未加入者への声かけ
岡山県	西上白寿会 中井 美満	津山市 勝北支部 新野地区	①支部の会議で会員増強への理解を図る②町内会や民生委員など地域の関係団体の支援③女性リーダーが運動の要として取り組み、未加入者に積極的に声かけ

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
岡山県	西中長寿会 芦田 創	津山市 勝北支部 新野地区	①町内会長、民生委員などの理解を得て運動を実践②女性リーダーが中心に運動を推進③クラブ会長や会員が積極的に未加入者への声かけをおこなった
岡山県	矢掛町 老人クラブ連合会 日置 彰雄	矢掛町	①古希の対象者で慶寿式を開催し加入を呼びかけた②女性スポーツ大会や新たなスポーツ大会を開催し加入につなげた③各地区の役員が対象者への加入を呼びかけた
広島市	皆賀長寿会 藤井 靖	佐伯区 五日市町 皆賀地区	①町内会、いきいきサロン等の場で積極的に声かけ②友達や配偶者、近所の方に入会をすすめた③サークルや行事をPRしながら戸別訪問
広島市	三宅無量寿会 兒玉ミチ子	佐伯区 三宅地区	①クラブ活動の充実PRが口コミで広がり勧誘活動に効果②候補者への巡回や戸別訪問による声かけを実施③町内会と連携を図り、情報の共有をはかった
広島市	寺田ささえ会 西川 國昭	佐伯区 八幡地区	①独自の入会チラシなどを作成配布②町内会の支援を得て未加入候補者リスト等勧誘候補者を検討③町内会の催事での声かけをはじめ、町内会総会でのクラブ活動を説明、PRをおこなった
広島市	折出寿会 安田 滋	佐伯区 城山地区	①各サークル活動や行事を通じ未加入者への声かけ②町内会や各団体の会合時にクラブ活動への参加の呼びかけや体験参加により加入につなげた③加入候補者リストを作成し、各会員がそれぞれ勧誘
広島市	シニアクラブ 倉重友和会 川嵯 武	佐伯区 倉重地区	①班長会議で候補者名簿を作成し、巡回②若手に魅力ある行事やサークル活動を実施③民生委員へ勧誘の協力を依頼、町内会総会でのクラブ紹介と入会促進④若手の加入拡大を目指しクラブの名称を変更
広島市	八幡が丘青葉会 角藤 脩	佐伯区 八幡が丘地区	①各種サークル・全体行事の活性化②町内会と連携し名簿を作成、戸別訪問により勧誘③町内会広報紙を通じ、活動をPR
広島市	美鈴が丘地区 OB会第3グループ 稲葉 勝典	佐伯区 美鈴が丘 西地区	①サロンの参加者への熱心な勧誘②サークルへの誘いをかねた戸別訪問により入会を勧める③若手の入会を促すためゴルフ部を新設
広島市	シニアクラブ芙蓉会 戸井 威雄	佐伯区 五月が丘地区	①町内会の協力を得て、町内の全家庭に毎月会報を配布②クラブ活動の充実から活動への参加者拡大③毎週実施している百歳体操へ会員・非会員問わず参加できることが地域で評判になり参加者が加入につながった
山口県	周南市老人クラブ連合 会新南陽支部 久野 忠央	周南市	①増強対策委員会を設け、共通課題として前年の数値や目標数を設置②未加入世帯への個別訪問や声掛け運動③未加入地域の自治会へ情報を提供し、クラブ設置に対する協力を要請
徳島県	一条中央長寿会 佐藤 敬治	阿波市 吉野町 西條地区	①サロン等集会で未加入者を勧誘②クラブ行事で新たな入会候補者の情報を収集し勧誘③会員の身内や夫婦の入会を奨励
香川県	城北老人クラブ 連合会第9クラブ 藤田登茂子	丸亀市 城北地区	①年間行事や活動の場で声かけ②活動への参加を呼びかけ体験してもらう③地元の行事に参加
香川県	萩原三楽会第1クラブ 横山 孝志	観音寺市 大野原地区	①各役員が地道な声かけを継続②自治会でも対象者に対し、熱心に勧誘③地区公民館から会費の協力（補助）があり入会しやすい

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
香川県	川添百社会 第二クラブ 大塚 秀雄	高松市 川添地区	①班長会を毎月開催し情報の共有②多くの行事を実施し参加しやすい環境づくり③サロン活動（居場所づくり）への参加者が増加し入会を勧めた
愛媛県	湯の山友遊会 植木 紀代	松山市 湯山地区	①楽しい活動を展開し、地域の未加入者にへの関心を高めた②多彩な活動を展開し参加しやすくした③若手の加入促進に向けて魅力ある活動内容を増やした
愛媛県	本村あやめ会 徳本 睦英	松山市 新玉地区	①地域を7つに分け班長を中心に広報誌配布など見守り活動②月例誕生日会を開き地域の交流の場となり親睦を深め③「あやめ会便り」を発行し行事や情報を提供した
愛媛県	田口シニアクラブ 岡 和生	大洲市 喜多地区	①自治会との交流を深め加入につなげ②三世代交流など地域の行事にも積極的に関わり地域の活性化に協力③独自のパンフレットを作製、配布し加入促進につなげた
高知県	室戸市老人クラブ 連合会 鈴木 彬夫	室戸市	①毎月役員会で取り組み状況を報告、情報を共有②休会クラブ予備群へ、後継リーダー発掘等の対応と支援③参加しやすい活動と新事業で関心を高めた④加入特典をPR④会費や活動費支援等で加入環境を整えた
福岡県	大谷慶人クラブ 熊 昌弘	宗像市 赤間西校区	①自治会のサークルで勧誘②対象の高齢を自治会役員や友人を通じて勧誘③自治会や福祉会の役員に加入してもらい波及効果
福岡県	ひかりヶ丘 シニアクラブ 馬場 良江	宗像市 河東校区	①月例会を毎月開催し活動報告や親睦をはかり、欠席者への資料配布を兼ね見守りを行った②趣味活動を通して同好会を立上げ、仲間づくりにつなげた
福岡県	明生会 久保 通	太宰府市 西小校区 長浦台地区	①会長、役員、会員が情報を共有し、運動に取り組んだ②地元自治会との情報交換、連携を図る③自治会の行事を通じて活動の見学体験を実施
福岡県	光陽台3区 シニアクラブ若葉会 萩原 清美	福津市 福岡南校区	①諸行事に非会員も誘い活動への理解を深め②自治会や公民館活動に参加して地域住民と交流が図られ③各種行事内容の充実をはかり、活動の参加者相互の懇親の場を増やした
福岡県	桜山手区 シニアクラブ桜寿会 前田 捷洋	新宮町 新宮校区	①自治会、福祉会、子ども会、民生委員など連携を深めた②趣味の場も多くなり会員相互のコミュニケーションの輪が広がった③趣味活動や健康づくり活動等への参加を広く呼びかけた
福岡県	第一弥生会 老人クラブ 陣野 清	久留米市 南校区	会員のみならず、クラブ未加入者も日帰り研修会に参加できるように工夫をして勧誘
福岡県	横馬場クラブ 吉田 征義	久留米市 高良内校区	①未加入者リスト作成し勧誘②民生委員との協賛による親睦会に未加入者を誘う③若手の入会者は加入時に会費免除とした（まずクラブ活動を体験してもらった）
福岡県	鍾水クラブ 穴見 利允	久留米市 高良内校区	①活動内容を丁寧に説明し1月～3月集中的に戸別訪問②未加入者を会長と班長が共有し勧誘
福岡県	長寿会 山口 慶蔵	久留米市 善導寺校区	①自治会と連携し、未加入者への丁寧な勧誘活動②会長と役員による戸別訪問 ③ラジオ体操など集まる機会に参加した会員勧誘

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
福岡県	竹野校区 第2老人クラブ 志波 一範	久留米市 田主丸校区	①65歳以上は自動的に加入する仕組みを導入②地域の繋がりが強く退会者が少ない
福岡県	大板井2区 老人クラブ喜楽会 田中 克幸	小都市 大原校区	①行政区役員に機会を捉えて老人クラブをPR②友人を誘う③民生委員の役員のつながりで勧誘
福岡県	八町牟田上 老人クラブ 野口 隆義	大木町 木佐木校区	①住民台帳で60歳以上を抽出②会長が一人ひとり訪ねて加入案内を説明し、勧誘
福岡県	鶴松会 草野 浩洋	芦屋町 芦屋東校区	①自治会の集会（サロンや体操教室等）で未加入者を勧誘②会長、役員が未加入者に対し戸別訪問で誘う
福岡県	山田峠老人クラブ 寿会 谷口 敏一	岡垣町 山田校区	①クラブ活動の活性化・魅力化に取り組む②パンフレットで勧誘したり50歳以上が加入できる仕組みを導入③区の行事はクラブ会員が中心となり実施
福岡県	第一クラブ 工藤 留雄	行橋市泉校区	①奉仕活動で老人クラブ活動を地域住民に理解してもらえた②女性部の活動が活発で新会員獲得につながった ③報奨金が支部の活動資金となり運動の力となった
佐賀県	若宮第一老人クラブ 芳賀 信夫	佐賀市 若楠校区 若宮地区	①定例会を毎月実施し情報を提供②未加入者に対しては活動を通して勧誘③自治会のふれあいサロンに参加したり清掃活動など自治会と連携をはかり地域活動に取り組んでいる姿勢が加入につながった
佐賀県	鹿島市老人クラブ 連合会 高松 昭三	鹿島市	①行政機関・区長との懇話会で協力を依頼②各クラブごとに目標をたて、組織的に会員増強運動に取り組む③単位クラブ会長を招集し、会員増強懇話会を開き、情報交換による連携と親睦を図り、運動に取り組む
長崎県	久山台シニア会 伊達 政昭	諫早市久山台 真津山地区	①趣味の会や同好会を増やし未加入者への参加を促進②未加入者宅を戸別訪問③自治会行事や祭りなど参加しクラブ活動をアピール
長崎県	水計寿会 島 信行	大村市 水計町 大村地区	①グラウンド・ゴルフへの参加を通じて入会をすすめた②健康麻雀大会などレクリエーションを通じて加入促進につながる取り組みを実施③町内会の総会や花見など町内会行事の機会に入会を勧めた
熊本県	築地長寿会 西川 攻	玉名市 築地・中尾 地区	①区長や民生委員など地域の役職者の入会②趣味の会に誘い活動を通して勧誘③老人クラブの魅力をアピール（交友の輪が広まり・趣味を楽しむ・旅行が楽しめるなど加入のメリット）
熊本県	糠峯寿会 坂本 虎司	玉名市 山田糠峰団地 東地区	①手作りパンフレットを手渡し活動を説明する勧誘が効果的②共通の趣味や興味を持った仲間が集まり楽しい活動に参加してもらい、老人クラブをPR③未加入者の情報を入手し会長や役員が共有し勧誘
熊本県	滑石老人クラブ 第三白寿会 前田 親伸	玉名市 滑石下地区	①加入勧誘パンフレットを使って入会を勧めた②健康づくり、生きがいづくりなど日頃のクラブ活動を地域内に広くPRし、老人クラブ活動の楽しさや魅力を伝えた
熊本県	芦北町老人クラブ 連合会 鬼塚 昌久	芦北町	①町老連やクラブ会長が先頭に立ち個別訪問による勧誘②女性委員は友達ネットワークで加入呼びかけ③役場のOBネットワークを生かし、自治区長の協力をとりつけた④会員増強報奨制度も効果大

都道府県 指定都市	団体名／代表者名	結成区域	取り組み状況 (会員増加のポイント)
宮崎県	中央団地高齢者 はつらつクラブ 藤井 秀雄	日南市吾田東 5丁目～7丁目 地区	①健康づくり活動が盛んで特にグラウンド・ゴルフやパークゴルフの 人気が高い②様々な活動を通して参加希望者が入会につながった
宮崎県	桜寿会 金丸 満憲	日南市 中村地区	①公民館活動を中心に健康づくり、レク活動をすすめた②グラウンド・ ゴルフなどに非会員を誘い、様々な活動への参加希望者が増えた
宮崎県	生目区高齢者クラブ 日高 忠治	宮崎市 生目地区	①毎月定例会を開催し、情報を共有②魅力的な活動を展開（未加入者を 交えて日帰り旅行、健康教室を年4回開催）③自治会役員経験者を定期的 にクラブ行事に誘い、体験してもらい加入に結び付けた
宮崎県	白寿会 三井 満男	延岡市平原町 平原西地区	①クラブ活動を楽しく運営②毎月定例会を開催し、会員に役立つ講演や 情報を提供③行事参加には、地域の方々も誘い合って参加するようにし た
宮崎県	新菅長寿会 三角 巖	川南町 新茶屋・菅原 地区	①毎月の役員会で会員増強運動の呼びかけ②自治会の行事に参加し勧 誘③地域行事100歳体操や花壇手入れ、グラウンド・ゴルフなどの際に 加入を呼びかけた
宮崎県	孝の子友愛クラブ 濱島 國俊	小林市・ 孝の子区	①定期的に役員会を開き、行事等の話し合い②班長が中心となって広報 誌によりPRし、地域の高齢者に加入を呼びかけた③グラウンド・ゴルフ やペタンク、パークゴルフへの地域の高齢者へ参加を呼びかけた
鹿児島県	喜入若葉会 上蘭 猛	薩摩川内市 平佐町 平佐西地区	①加入促進月間を設定②地域高齢者に見える活動に取り組み、健康づく りや世代間交流に未加入者への参加を呼びかけた③生活支援サービス の体制作りにも積極的に参加
鹿児島県	田崎鶴亀会 今吉 成史	薩摩川内市 田崎・永利町 平佐西地区	①自治会の全面支援による推進体制②様々な活動に高齢者の参加を促 し地域内の交流を深める③活動は自治会員なら誰でも参加できるように 「鶴亀サロン」の名称で実施
鹿児島県	大崎町老人クラブ 連合会 大野 重則	曾於郡大崎町	①各スポーツ大会や町事業（マスタープロジェクト等）で声掛け②会長 をはじめ会員が率先して友人や知人への声掛け③町が少人数でも単位 クラブとして認可、クラブの新設や復活につながった
沖縄県	宮城区老人クラブ 百歳会 久手堅達夫	北谷町 宮城地区	①各種行事に友人や知人を誘い体験してもらい②未加入者への声かけ ③朝のラジオ体操など各種行事に高齢者も参加、楽しめるように若手や 健康会員によるサポート体制をつくった
沖縄県	登川老人クラブ 仲宗根盛雄	沖縄市 知花地区	①役員などによる知人への声かけや勧誘②サークル活動を中心に健康 づくり・仲間づくりに取り組み、若手会員の増加につながった
沖縄県	渡具知緑の会 池原 義彦	読谷村 渡具知地区	①地域のゆいマール共生事業への積極的な参加・協力②各事業の実施 に際しては多くの方に呼びかけて参加を促進した③地域の未加入者に対 して老人クラブ活動のPRを行った
沖縄県	浦添市老人クラブ 連合会 與那嶺良子	浦添市	①組織的に「休会クラブの復活」を掲げ、クラブ復活につなげた②自治 会からの加入促進支援体制③各クラブごとに年代に合わせた活動を取り 入れて、若手の参加拡大
沖縄県	中城村老人クラブ 連合会 金城 久夫	中城村	①地域の協力で休会クラブを解消②三大行事への積極的な参加呼びか け③村の介護予防事業を受託し、介護予防の認定を受けた6つの教室を 開催し、会員、非会員問わず教室に通う中、口コミで活動が広まった

「会員加入促進の取り組み事例集」

令和2年3月

発 行 公益財団法人 全国老人クラブ連合会
〒100-8917 東京都千代田区霞が関3-3-2
新霞が関ビル
<http://zenrouren.com/>

印 刷 株式会社トライ

000040202



「会員加入促進の取り組み」

事例集

令和元年度

